

FUJITSU Software Infrastructure Manager V2.5 Infrastructure Manager for PRIMEFLEX V2.5



プロファイル管理機能 プロファイル設定項目集

> CA92344-3300-04 2020年1月

まえがき

本書の目的

本書では、サーバー、ストレージ、スイッチなどの ICT 機器やファシリティー機器 (PDU など)を統合的に管理、運用する運用管理ソフトウェアである FUJITSU Software Infrastructure Manager で、管理対象機器のプロファイル作成の設定を行う際に選択する 項目の詳細情報について説明します。

・FUJITSU Software Infrastructure Manager(以降、「ISM」と表記)

・FUJITSU Software Infrastructure Manager for PRIMEFLEX (以降、「ISM for PRIMEFLEX」と表記)

マニュアル名称	説明
FUJITSU Software	本製品を初めて使用する利用者向けのマニ
Infrastructure Manager V2.5	ュアルです。
Infrastructure Manager for PRIMEFLEX	本製品の製品体系/ライセンス、利用手順
V2.5	の概要について説明しています。
入門書	マニュアル内では、『入門書』と表記します。
FUJITSU Software	本製品の機能、導入手順、操作方法を説明
Infrastructure Manager V2.5	したマニュアルです。本製品の全機能、全
Infrastructure Manager for PRIMEFLEX	操作を把握できます。
V2.5	マニュアル内では、『解説書』と表記します。
解説書	
FUJITSU Software	本製品の導入手順、利用シーンに応じた操
Infrastructure Manager V2.5	作手順を説明したマニュアルです。
Infrastructure Manager for PRIMEFLEX	マニュアル内では、『操作手順書』と表記し
V2.5	ます。
操作手順書	
FUJITSU Software	お客様が作成したアプリケーションと本製
Infrastructure Manager V2.5	品を連携する際に必要な API の使用方法、
Infrastructure Manager for PRIMEFLEX	サンプル、パラメーター情報などを説明し
V2.5	たマニュアルです。
REST API リファレンスマニュアル	マニュアル内では、『REST API リファレ
	ンスマニュアル』と表記します。
FUJITSU Software	ISM 使用時に出力される各種メッセージの
Infrastructure Manager V2.5	説明と、そのメッセージに対しての対処方

製品マニュアル

マニュアル名称	説明
Infrastructure Manager for PRIMEFLEX	法について説明しています。
V2.5	マニュアル内では、『ISM メッセージ集』と
メッセージ集	表記します。
FUJITSU Software	ISM for PRIMEFLEX 使用時に出力される
Infrastructure Manager for PRIMEFLEX	各種メッセージの説明と、そのメッセージ
V2.5	に対しての対処方法について説明していま
メッセージ集	す。
	マニュアル内では、『ISM for PRIMEFLEX
	メッセージ集』と表記します。
FUJITSU Software	本書を指します。
Infrastructure Manager V2.5	
Infrastructure Manager for PRIMEFLEX	
V2.5	
プロファイル管理機能 プロファイル設定	
項目集	
FUJITSU Software	ISM for PRIMEFLEX においてクラスタ作
Infrastructure Manager for PRIMEFLEX	成機能、クラスタ拡張機能の自動設定内容
V2.5	や各機能で使用されるクラスタ定義パラメ
クラスタ作成/拡張機能 設定値一覧	ーターについて説明しています。
	マニュアル内では、『ISM for PRIMEFLEX
	設定値一覧 』と表記します。
FUJITSU Software	本製品を使用するうえで理解が必要な用語
Infrastructure Manager V2.5	の定義を説明した用語集です。
Infrastructure Manager for PRIMEFLEX	マニュアル内では、『用語集』と表記します。
V2.5	
用語集	
FUJITSU Software	Infrastructure Manager Plug-in の以下の
Infrastructure Manager V2.5	機能について、インストールから利用方法
Infrastructure Manager for PRIMEFLEX	までと注意事項や参考情報を説明します。
V2.5	Infrastructure Manager Plug-in for Microsoft System Conten Operations
Plug-in and Management Pack セットア	Manager
ップガイド	• Infrastructure Manager Plug-in for
	Microsoft System Center Virtual Machine Manager
	• Infrastructure Manager Plug-in for
	VMware vCenter Server

マニュアル名称	説明
	• Infrastructure Manager Plug-in for VMware vCenter Server Appliance
	• Infrastructure Manager Management Pack for VMware vRealize Operations
	• Infrastructure Manager Plug-in for VMware vRealize Orchestrator
	マニュアル内では、『ISM Plug-in/MP セッ
	トアップガイド』と表記します。

上記マニュアルと併せて、ISM に関する最新情報については、当社の本製品 Web サイトを 参照してください。

http://www.fujitsu.com/jp/products/software/infrastructure-software/infrastruc

管理対象の各ハードウェアについては、各ハードウェアのマニュアルを参照してください。 PRIMERGY の場合は、「ServerView Suite ServerBooks」、または PRIMERGY マニュア ルページを参照してください。

http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/manual/

本書の読者

このマニュアルは、ハードウェアとソフトウェアについて十分な知識を持っているシステ ム管理者、ネットワーク管理者、ファシリティー管理者およびサービス専門家を対象としま す。

本書の表記について

表記

キーボード

印字されない文字のキーストロークは、[Enter]や[F1]などのキーアイコンで表示さ れます。例えば、[Enter]はEnterというラベルの付いたキーを押すことを意味し、 [Ctr1]+[B]は、Ctr1またはControlというラベルの付いたキーを押しながら[B]キー を押すことを意味します。

記号

特に注意すべき事項の前には、以下の記号が付いています。

ポイント

ポイントとなる内容について説明します。

注意

注意する項目について説明します。

変数:<xxx>

お使いの環境に応じた数値/文字列に置き換える必要のある変数を表します。 例:<IPアドレス>

略称

本書では、以下のとおり略称で記載することがあります。

正式名称	略称	
Microsoft® Windows Server® 2019 Datacenter	Windows Server 2019 Datacenter	Windows Server 2019
Microsoft® Windows Server® 2019 Standard	Windows Server 2019 Standard	
Microsoft® Windows Server® 2019 Essentials	Windows Server 2019 Essentials	
Red Hat Enterprise Linux 8.0 (for Intel64)	RHEL 8.0	Red Hat Enterprise Linux または Linux
SUSE Linux Enterprise Server 15 SP1 (for AMD64 & Intel64)	SUSE 15 SP1(AMD64) SUSE 15 SP1(Intel64) または SLES 15 SP1(AMD64) SLES 15 SP1(Intel64)	SUSE Linux Enterprise Server または Linux
SUSE Linux Enterprise Server 15 (for AMD64 & Intel64)	SUSE 15(AMD64) SUSE 15(Intel64) または SLES 15(AMD64) SLES 15(Intel64)	
VMware® vSphere [™] ESXi 6.7	VMware ESXi 6.7	VMware ESXi
VMware Virtual SAN	vSAN	
Microsoft Storage Spaces Direct	S2D	

用語

本書で使用している主な略語および用語については、『用語集』を参照してください。

PDF 表示アプリケーション(Adobe Reader など) での操作について

PDF表示アプリケーションで以下の操作を行った場合、表示アプリケーションの仕様により、不具合(余分な半角空白の追加、半角空白の欠落、行末のハイフンの欠落、改行だけの行の欠落など)が発生することがあります。

- ・テキストファイルへの保存
- ・テキストのコピー&ペースト

高度な安全性が要求される用途への使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業等の一般的用途を想定して開発・ 設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、 航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器シ ステムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が 確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途(以下「ハイセイフテ ィ用途」という)に使用されるよう開発・設計・製造されたものではありません。お客様は 本製品を必要な安全性を確保する措置を施すことなくハイセイフティ用途に使用しないで ください。また、お客様がハイセイフティ用途に本製品を使用したことにより発生する、お 客様または第三者からのいかなる請求または損害賠償に対しても富士通株式会社およびそ の関連会社は一切責任を負いかねます。

安全にお使いいただくために

本書には、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本 製品をお使いになる前に、本書を熟読してください。また、本製品を安全にお使いいただく ためには、本製品のご使用にあたり各製品(ハードウェア、ソフトウェア)をご理解いただ く必要があります。必ず各製品の注意事項に従ったうえで本製品をご使用ください。本書は 本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

改造等

お客様は、本ソフトウェアを改造したり、あるいは、逆コンパイル、逆アセンブルをともな うリバースエンジニアリングを行うことはできません。

免責事項

本製品の運用を理由とする損失、免失利益等の請求につきましては、いかなる責任も負いか ねます。本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。

登録商標について

Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Server、Hyper-V、Active Directory、 またはその他のマイクロソフト製品の名称および製品名は、米国 Microsoft Corporation の 米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Linux は、Linus Torvalds 氏の米国およびその他の国における登録商標あるいは商標です。 Red Hat および Red Hat をベースとしたすべての商標とロゴは、米国およびその他の国 における Red Hat, Inc.の商標または登録商標です。

SUSE および SUSE ロゴは、米国およびその他の国における SUSE LLC の商標または登録商標です。

VMware、VMware ロゴ、VMware ESXi、VMware SMP および VMotion は VMware,Inc の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Intel、インテル、Xeon は、米国およびその他の国における Intel Corporation またはその

子会社の商標または登録商標です。

Java は、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。

Zabbix はラトビア共和国にある Zabbix LLC の商標です。

PostgreSQL は PostgreSQL の米国およびその他の国における商標です。

Apache は、Apache Software Foundation の商標または登録商標です。

Cisco は、米国およびその他の国における Cisco Systems, Inc. およびその関連会社の商標です。

Elasticsearch は、Elasticsearch BVの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Xen は、XenSource, Inc.の商標です。

Trend Micro および Deep Security は、トレンドマイクロ株式会社の商標又は登録商標です。

その他の会社名と各製品名は、各社の商標、または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

著作権表示

Copyright 2019 FUJITSU LIMITED

本書を無断で複載・転載することを禁止します。

改版履歴

版数	作成年月	章・節・項	変更内容
01	2019年7月	-	新規作成
02	2019年9月	1.PRIMERGY · PRIMEQUEST 3000B	以下の項目を追加
		サーバー用プロファイルの	(ISM 2.5.0.010 以降)
		BIOS/iRMC 設定項目	・アップデート
		・iRMC タブ	・デプロイメント
		3.1 Windows Server 用プロファイル	以下の項目を追加
		3.2 VMware ESXi 用プロファイル	(ISM 2.5.0.010 以降)
		3.3 Red Hat Enterprise Linux 用プロ	・インストール情報
		ファイル	
		3.4 SUSE Linux Enterprise Server 用	
		プロファイル	
		3.1 Windows Server 用プロファイル	Windows Server 2019 のイ
		・OSタブ	ンストール時に表示される
			メッセージについて注釈を
			追加
		3.2 VMware ESXi 用プロファイル	以下の OS を追加
			(ISM 2.5.0.010 以降)
			• VMware ESXi 6.7 update3
			• VMware ESXi 6.5 update3
		3.3 Red Hat Enterprise Linux 用プロ	以下の OS を追加
		ファイル	(ISM 2.5.0.010 以降)
			Red Hat Enterprise Linux
			7.7 (for Intel64)
03	2019 年 11 月	3.4 SUSE Linux Enterprise Server 用	以下の OS を追加
		プロファイル	(ISM 2.5.0.020 以降)
			SUSE Linux Enterprise
			Server 12 SP5 (for AMD64 &
04	2020 年 1 日	22\/Mwore ESVi 田プロファイル	Intelo4)
04	2020 4 1 J	3.2 VIVIWATE ESAT 用ノロノテイル	以下のしるを追加
			(ISIM 2.5.0.030 以座)
		22 Pod Hot Entorprise Linux 田プロ	
		3.3 Reu Hat Enterprise Linux 用ノロ	以下のUSを追加 (ISM 2 5 0 030 下路)
			· Red Hat Enterprise Linux
			8.1 (for Intel64)
			• Red Hat Enterprise Linux
			7.8 (for Intel64)
			以下の項目を追加
			(ISM 2.5.0.030 以隆)
			 ・基本情報
		7 . 共通ポリシーの設定項目	新規作成
			(ISM 2.5.0.030 以降)

目次

表紙	0
まえがき	1
改版履歴	7
目次	8
1. PRIMERGY · PRIMEQUEST 3000B サーバー用プロファイルの BIOS/iRMC 設定項目	Ξ
9	
2. PRIMEQUEST 2000・PRIMEQUEST 3000E シリーズ パーティション用プロファイ/	V
の MMB 設定項目4	0
3. サーバー用プロファイルの OS 設定項目4	3
3.1. Windows Server 用プロファイル4	3
3.2. VMware ESXi 用プロファイル5	2
3.3. Red Hat Enterprise Linux 用プロファイル5	9
3.4. SUSE Linux Enterprise Server 用プロファイル6	8
4. PRIMERGY サーバー / PRIMEQUEST 3000E パーティション用プロファイルの仮想	閁
IO 設定項目7	8
4.1. カード設定7	8
4.2. ポート設定7	9
4.3. ブート設定	1
4.4. CNA 設定	4
4.5. 仮想アドレス設定8	4
5. ストレージ用プロファイルの設定項目	7
5.1. ETERNUS DX 用プロファイル8	7
5.2. ETERNUS NR 用プロファイル9	1
6 . スイッチ用プロファイルの設定項目9	3
6.1. SR-X 用プロファイル	3
6.2. VDX 用プロファイル	8
6.3. イーサネットスイッチ(10GBASE-T 48+6/10GBASE 48+6)用プロファイノ	V
102	
6.4. CFX 用プロファイル10	6
7. 共通ポリシーの設定項目(ISM 2.5.0.030以降)11	3
7.1. 監視ポリシー11	3

1. PRIMERGY • PRIMEQUEST 3000B サーバー用プロファイルの BIOS/iRMC 設定項目

プロファイル中の BIOS/iRMC タブで設定可能な項目を記載します。

注意

・サーバーのモデルによって、一部設定できない項目や設定内容が異なる項目がありま

す。対象サーバーがサポートしている範囲で設定してください。

・プロファイル内の設定項目は、個別に有効/無効を選択できます。無効にした場合、プロファイルを適用しても、無効に設定した項目は変更されません。

・プロファイルと実際の機種の設定項目が異なる場合があります。各項目の詳細は、対象 サーバーのマニュアルを参照し、プロファイルの該当する設定項目に対して設定してくだ さい。

BIOSタブ

項目名		説明	設定値
Ρ	CI Subsystem Settings		
	ASPM Support (PCI-E	PCI Express リンクの電源管	Disabled=ASPM を無
	ASPM Support (Global))	理に Active State Power	効にする
	(Disabled / L1 only / Auto /	Management (L1 only=PCI Express
	Force L0s)	ASPM)を使用するかどうか	リンクの低電力モード
		を指定します。ASPM はこ	は L1(単方向)に設定
		の設定によって全般的に有	する
		効になっていても、該当す	Auto=省電力を最大化
		る PCI Express 拡張カード	されるように設定する
		またはオンボードコントロ	Force L0s / Limit to
		ーラーも	L0s=PCI Express リ
		ASPM をサポートしている	ンクの低電力モードを
		場合にのみ特定のリンクに	LOs(単方向)に設定
		対して有効になります。	する
	DMI Control	CPU とチップセット間のバ	GEN 1=CPU とチップ
	(GEN 1 / GEN 2)	ス接続速度を選択します。	セット間のバス接続を
		速度が遅いほど消費電力が	設定して 2.5 GT/s で実
		少なくなりますが、システ	行する
		ムパフォーマンスも低下し	GEN 2=CPU とチップ

項	目名	説明	設定値
		ます。	セット間のバス接続を
			設定して 5.0 GT/s で実
			行する
С	PU Configuration		
	Execute Disable Bit	CPU O Execute Disable Bit	Enabled=機能を使用
	(Enabled / Disabled)	動作を指定します。本機能	可能にする
		は、マニュアルによって、	Disabled=機能を無効
		「XD(eXecute Disable) ビ	にする
		ット」、または「NX(No	
		eXecute) ビット」として説	
		明されている場合がありま	
		す。	
	Hyper-Threading	CPU O Hyper Threading	Enabled=機能を使用
	(Enabled / Disabled)	Technology 動作を指定しま	可能にする
		す。	Disabled=機能を無効
		本機能を持たない CPU を搭	にする
		載している場合、本設定は	
		無視されます。	
	Active Processor Cores	複数のプロセッサコアが含	All=使用可能なすべて
	(All / 1-64)	まれているプロセッサに対	のプロセッサコアを有
		して、有効なプロセッサコ	効にする
		ア数を指定します。有効で	1-64=選択した数のプ
		ないプロセッサコアは使用	ロセッサコアのみを有
		されず、 OS から隠蔽されま	効にし、残りのプロセ
		す。	ッサコアは無効にする
	Hardware Prefetcher	メモリーバスが非アクティ	Enabled=機能を使用
	$({\sf Enabled}/{\sf Disabled})$	ブになったときに、必要に	可能にする
		なる可能性のあるメモリー	Disabled=機能を無効
		内容が自動的にキャッシュ	にする
		にプリロードするか指定し	
		ます。	
		メモリーではなくキャッシ	
		ュから内容を読み出すこと	
		によって、特にデータへの	
		リニアアクセスを使用する	

項目名		説明	設定値
		アプリケーションの場合に	
		レイテンシが短縮されま	
		す。	
	Adjacent Cache Line	プロセッサのキャッシュ要	Enabled=要求された
	Prefetch (Enabled /	求時に追加の隣接する 64 バ	キャッシュラインと隣
	Disabled)	イトキャッシュラインをロ	接キャッシュラインを
		ードするか指定します。	ロードする
		プロセッサのキャッシュ要	Disabled =要求された
		求時に追加の隣接する64バ	キャッシュラインをロ
		イトキャッシュラインをロ	ードする
		ードするためのメカニズム	
		がプロセッサに備わってい	
		る場合に、このパラメータ	
		ーを使用できます。これに	
		よって、空間局所性の高い	
		アプリケーションのキャッ	
		シュヒット率が高まりま	
		す。	
	DCU Streamer Prefetcher	メモリーバスが非アクティ	Enabled=機能を有効
	(Enabled / Disabled)	ブになったときに、必要に	にする
		なる可能性のあるデータ内	Disabled=機能を無効
		容が自動的に L1 データキャ	にする
		ッシュにプリロードするか	
		指定します。	
		メモリーではなくキャッシ	
		ュから内容を読み出すこと	
		によって、特にデータへの	
		リニアアクセスを使用する	
		アプリケーションの場合に	
		レイテンシが短縮されま	
		す。	
	DCU IP Prefetcher	CPUのDCU IP Prefetch 動	Enabled=CPU の
	(Enabled / Disabled)	作を指定します。	DCU IP Prefetch を有
			効にする
			Disabled=CPU ∅

項目名		説明	設定値
			DCU IP Prefetch を無
			効にする
	Intel Virtualization	CPUの仮想化支援機能の動	Enabled=機能を有効
	Technology	作を指定します。	にする
	(Enabled / Disabled)		Disabled=機能を無効
			にする
	Intel (R) VT-d	CPU O Virtualization	Enabled=機能を有効
	(Enabled / Disabled)	Technology for Directed I/O	にする
		機能動作を指定します。	Disabled=機能を無効
			にする
	Power Technology	CPU の電源管理動作を設定	Energy Efficient=省電
	(Energy Efficient / Custom/	します。	力に最適化された動作
	Disabled)		をする
			Custom=追加設定項
			目により詳細動作を設
			定する
			Disabled=電源管理機
			能を無効にする
	HWPM Support	Power Technology ಸೆ	Disabled=HWPM 機能
	(Disabled / Native Mode	Custom の場合のみ設定可能	を使用しない
	/ OOB Mode)	な項目です。	Native Mode=HWPM
		パフォーマンスおよび省電	は、ソフトウェアイン
		力を管理する HWPM	ターフェース経由でオ
		(Hardware Power	ペレーティングシステ
		Management)の設定を指定	ムと協調動作する。
		します。	OOB Mode=CPU は、
			オペレーティングシス
			テムのエネルギー効率
			ポリシーの設定に基づ
			いて周波数を自動的に
			制御する
	Enhanced Speed Step	Power Technology ਨੇ	Enabled=機能を有効
	(Enabled / Disabled)	Custom の場合のみ設定可能	にする
		な項目です。	Disabled=機能を無効
		CPU Ø EIST (Enhanced	にする

項目名		名	説明	設定値
			Intel SpeedStep	
			Technology)動作を指定し	
			ます。	
		Turbo Mode	Enhanced Speed Step が	Enabled=機能を有効
		(Enabled / Disabled)	Enabled の場合のみ設定可能	にする
			な項目です。	Disabled=機能を無効
			CPU Ø Turbo Boost	にする
			Technology 動作を指定しま	
			す。	
			本機能を持たない CPU を搭	
			載している場合、本設定に	
			関わらず無効(Disabled)と	
			設定されます。	
		Override OS Energy	Power Technology ಸೆ	Enabled=機能を有効
		Performance	Custom の場合のみ設定可能	にする
		(Enabled / Disabled)	な項目です。	Disabled=機能を無効
			OS がセットアップのエネル	にする
			ギー効率ポリシーの設定を	
			上書きしないように防止す	
			るか指定します。	
		Energy Performance	Power Technology ಸೆ	Performance=エネル
		(Performance /	Custom の場合かつ、	ギー効率を犠牲にして
		Balanced Performance	Override OS Energy	も、パフォーマンスを
		/ Balanced Energy /	Performance ${\mathscr D}$ Enabled ${\mathscr O}$	得る方向に強く最適化
		Energy Efficient)	場合のみ設定可能な項目で	する
			す。	Balanced Performance
			非レガシーオペレーティン	=エネルギーを節約し
			グシステムでのプロセッサ	ながら、パフォーマン
			のエネルギー効率ポリシー	スを得る方向に設定す
			を指定します。	る
			動作によってこのモードを	Balanced Energy=良
			使用しないように決定され	好なパフォーマンスを
			ることがあります。	得ながら、エネルギー
				を節約する方向に設定
				する

項目名			説明	設定値	
					Energy Efficient=パフ
					オーマンスを犠牲にし
					ても、エネルギー効率
					を得る方向に強く最適
					化する
			Utilization Profile	Power Technology が	Even=エネルギーパフ
			(Even /	Custom の場合かつ、	オーマンスがバランス
			Unbalanced)	Override OS Energy	の取れたシステム利用
				Performance ${\mathscr N}$ Enabled ${\mathscr O}$	のため最適化する
				場合のみ設定可能な項目で	Unbalanced=パフォー
				す。	マンスを優先したアン
				異なるシステム利用に最適	バランスのシステム利
				化されるエネルギーパフォ	用に最適化する
				ーマンスの割合を指定しま	
				す。	
		С	PU C1E Support	Power Technology ಸೆ	Enabled=機能を有効
			(Enabled / Disabled)	Custom の場合のみ設定可能	にする
				な項目です。	Disabled=機能を無効
				電力の節約が可能なときに	にする
				プロセッサを停止するか指	
				定します。	
		A	utonomous C-state	Power Technology ಸ	Enabled=機能を有効
		S	upport	Custom の場合のみ設定可能	にする
			(Enabled / Disabled)	な項目です。	Disabled=機能を無効
				プロセッサの Autonomous C	にする
				ステートクロック制御を有	
				効にするか指定します。	
		С	PU C3 Report	Power Technology ಸೆ	Enabled=CPU C3 は
			(Enabled / Disabled)	Custom の場合のみ設定可能	ACPI C-2 状態として
				な項目です。	OSPM に渡す
				プロセッサの C3 状態を	Disabled=CPU C3 は
				ACPI C-2 状態をとして	ACPI C-2 状態として
				OSPM (OS Power	OSPM に渡さない
				Management)に渡すか指定	
				します。	

説明	設定値
Power Technology が Custom の場合のみ設定可能 な項目です。プロセッサの C6 状態を ACPI C-3 状態として OSPM に渡して、プロセッサの Deep Power Down Technology を有効にするか	Enabled=CPU C6 は ACPI C-3 状態として OSPM に渡す Disabled=CPU C6 は ACPI C-3 状態として OSPM に渡さない
指定します。	COC State の L 四大
Power Technology が Custom の場合のみ設定可能 な項目です。 プロセッサの C State の上限 を指定します。	C0=:C State の上限を C0 に設定する C2=:C State の上限を C2 に設定する C6=:C State の上限を C6 に設定する C6(Retention)=:C6 Retention を C 状態限 度に設定する C7=:C State の上限を C7 に設定する C7s=:C State の上限 を C7s に設定する No Limit=:C State の 上限を制限しない Auto=:システムで自動
リンク周波数を、 CPU で共 通してサポートされる周波 数に指定します。	Auto=BIOS から、シ ステムに存在する CPU とチップセットに基づ いて最大速度を設定す る 使用可能な速度設定は CPU に依存する。以下 を選択する。
	 説明 Power Technology が Custom の場合のみ設定可能な項目です。 プロセッサの C6 状態を ACPI C-3 状態として OSPM に渡して、プロセッサの Deep Power Down Technology を有効にするか 指定します。 Power Technology が Custom の場合のみ設定可能な項目です。 プロセッサの C State の上限を指定します。 I シンク周波数を、CPU で共通してサポートされる周波数に指定します。

邛	间名	説明	設定値
			8.0 GT/s、9.6 GT/s、
			10.4 GT/s
	Uncore Frequency Override	プロセッサのアンコア周波	Maximum=周波数は常
	(Maximum / Nominal /	数を指定します。	に事前に定義された最
	Disabled)	これにより 1/0 パフォーマン	大値を設定する
		スを向上させます。	Nominal=電力を節約
			するために、事前に定
			義された範囲でプロセ
			ッサが自動的に周波数
			を制御する。定格周波
			数を上回ることはない
			Disabled=電力を節約
			するために、事前に定
			義された範囲でプロセ
			ッサが自動的に周波数
			を制御する
	LLC Dead Line Alloc	LLC (Last Level Cache) \mathcal{O}	Enabled=便宜的に
	(Enabled / Disabled)	デッドラインの処理を指定	LLC のデッドラインを
		します。	満たす
		これによりシステムパフォ	Disabled=LLC のデッ
		ーマンスは影響を受けま	ドラインを満たさない
		す。	
	Stale AtoS	Caching Agent で陳腐化した	Enabled=最適化を有
	(Enabled / Disabled)	データのディレクトリ最適	効にする
		化を指定します。	Disabled=最適化を無
		これによりシステムパフォ	効にする
		ーマンスは影響を受けま	
		す。	
	COD Enable	BIOS が追加の NUMA ノー	Enabled=機能を有効
	(Enabled / Auto /	ドをソケットごとに構成	にする
	Disabled)	し、NUMA 指向性の高い作	Auto=システム構成で
		業負荷のパフォーマンスを	これを許可する場合に
		最適化するか指定します。	COD を有効にする
		この項目は、2つのホームエ	Disabled=機能を無効
		ージェントを持つ CPU が必	にする

項	间名	説明	設定値
		要です。COD(Cluster-on- Die)が有効なシステムの場	
		合、等時性アプリケーショ	
		ンを無効にする必要があ	
		り、早期スヌーピングはサ	
		ポートされません。	
	Early Snoop	早期スヌーピングを有効に	Enabled=機能を有効
	(Enabled / Auto /	するか指定します。COD が	にする
	Disabled)	有効な場合はサポートされ	Auto=システム構成で
		ません。	これが許可されず
			COD が無効な場合
			に、早期スヌープモー
			ドが有効になる
			Disabled=機能を無効
			にする
	Home Snoop Dir OSB	Home Snoop Directory with	Enabled=機能を有効
	(Enabled / Auto /	plain OSB (Opportunistic	にする
	Disabled)	Snoop Broadcast) キャッシ	Auto=CPU 構成に基
		ングを使用してスヌープ処	づいて自動的に選択さ
		理を最適化するか指定しま	れる
		す。	Disabled=機能を無効
			にする
Μ	lemory Configuration		
	NUMA	NUMA(Non-Uniform Memory	Enabled=NUMA 機能
	(Enabled / Disabled)	Access)機能の利用有無を指	を有効にする
		定します。	Disabled=NUMA 機能
		マルチプロセッサ構成では	を無効にする
		ない場合は意味を持ちませ	
		\mathcal{K}_{\circ}	
		BX920、BX924、RX200、	
		RX300、RX2520の場合、本	
		設定は、BX920 S4、BX924	
		S4、RX200 S8、RX300	
		S8、RX2520 M1 の BIOS	
		1.3.0、iRMC ファーム 7.19F	

項目名		説明	設定値
		以降が適用された装置での	
		みサポートされます。 それ	
		以外の装置では、本設定自	
		体を無効化しておく必要が	
		あります。	
	DDR Performance	メモリーモジュールは異な	Low-Voltage optimized
	(Low-Voltage optimized /	る速度(周波数)で動作し	=低電圧で可能な最も
	Energy optimized /	ます。高速になるほどパフ	高速な設定
	Performance optimize)	ォーマンスが向上し、低速	Energy optimized=省
		になるほど省電力になりま	電力で可能な最も低速
		す。使用可能なメモリー速	な設定
		度は、取り付けられている	Performance optimized
		メモリーモジュールの構成	=最高のパフォーマン
		に応じて異なります。	スを得るために可能な
			最も高速な設定
	Patrol Scrub	全メモリーをバックグラウ	Enabled=バックグラ
	(Enabled / Disabled)	ンドで定期的にスクリーニ	ウンドメモリースクリ
		ングするかどうかを指定し	ーニングを有効にする
		ます。	Disabled=バックグラ
			ウンドメモリースクリ
			ーニングを無効にする
	IMC Interleaving	Integrated Memory	Auto=使用可能なメモ
	(Auto / 1-Way / 2-Way)	Controllers (IMC)	リー構成に応じて、
		のインターリービングを指	BIOS でインターリー
		定します。このオプション	ビングを自動的に選択
		を使用して、メモリー構成	する
		に応じてシステムパフォー	1-Way=1-Wayインタ
		マンスを構造できます。	ーリービングを選択し
			ます
			2-Way=2-Wayインタ
			ーリービングを選択し
			ます
	Sub NUMA Clustering	Sub NUMA Clustering	Enabled=フル Sub
	(Enabled / Disabled /	(SNC) は、LLC	NUMA Clustering \checkmark $ ightarrow$
	Auto)	(Last Level Cache)をアド	まり、1-Way インター

項	〔目	名	説明	設定値
			レス範囲に基づいてばらば	リービングの 2 クラ
			らのクラスタに分割する機	スタをサポートしま
			能です。LLC からローカル	す。
			メモリーまで平均レイテン	Disabled=Sub NUMA
			シを向上します。	Clustering
				を無効にする
				Auto=IMC インターリ
				ービングの選択によっ
				て、1 クラスタまたは
				2 クラスタがサポート
				されます。IMC インタ
				ーリービングが
				「Auto」の場合も、2-
				Way インターリービン
				グの 1 クラスタがサポ
				ートされます
0	Onboard Device Configuration			
	0	nboard SAS/SATA (SCU)	オンボード SAS/SATA スト	Enabled=SCU を有効
		(Enabled / Disabled)	レージコントローラーユニ	にする
			ット(SCU)の動作を指定	Disabled=SCU を無効
			します。	にする
		SAS/SATA OpROM	Onboard SAS/SATA	Enabled=Option ROM
		(Enabled / Disabled)	(SCU)が Enabled の場合	を有効にする
			のみ設定可能な項目です。	Disabled=Option
			SAS/SATA コントローラー	ROM を無効にする
			の Option ROM 動作を指定	
			します。	
		SAS/SATA Driver	SAS/SATA OpROM ಸೆ	LSI MegaRAID=
		(LSI MegaRAID / Intel	Enabled の場合のみ設定可能	Embedded MegaRAID
		RSTe)	な項目です。	用 Option ROM を使用
			SAS/SATA コントローラー	する
			の Option ROM の種類を指	Intel RSTe=Intel RSTe
			定します。	用 Option ROM を使用
				する
	FI	exible LOM	Flexible LOM (OCP) のポー	Enabled=すべての

項目名	説明	設定値
(Enabled / Disabled)	トを使用するか指定します。	Flexible LOM のポート を有効にする Disabled=Flexible LOM のポートを無効 にする
Flexible LOM Oprom (Enabled / Disabled)	Flexible LOM アダプターの Legacy Option ROM を起動 するかどうかを指定しま す。 レガシー、つまり非 UEFI Option ROM のみ有効で す。UEFI Option ROM はこ の選択により影響を受けま せん。	Enabled=Legacy Option ROM を起動す る Disabled=Legacy Option ROM を起動し ない
LAN Controller (LAN 1 / LAN 1 & 2 / Disabled)	機能させる LAN コントロ ーラーを指定します。 注意 サーバーのモデルによっ て、BIOS の設定値が 「Disabled / Enabled」にな っている場合があります。 BIOS の設定値を 「Enabled」にしたい場合、 本項目で「LAN 1」を指定し てください。	LAN 1=LAN 1 コント ローラーを有効にし、 LAN 2 コントローラー を無効にする LAN 1 & 2=両方の LAN コントローラーを 有効にする Disabled=両方の LAN コントローラーを無効 にする
LAN 1 Oprom (Disabled / PXE / iSCSI)	Option ROM を起動するか どうかを指定します。起動 する場合は Option ROM の タイプを指定します。 BIOS POST 中に適切な Option ROM が起動する場 合は、ブートデバイスとし て LAN コントローラーを 使用できます。	Disabled=Option ROM を起動しない PXE=PXE Option ROM を起動する iSCSI=iSCSI Option ROM を起動する

項	目	名	説明	設定値
			注意	
			サーハーのモアルによっ	
			て、BIOSの設定値か	
			Disabled / Enabled] 1272	
			っている場合があります。	
			BIOS の設定値を	
			「Enabled」にしたい場合、	
			本項目で「PXE」を指定し	
			てください。	
		LAN 2 Oprom	Option ROM を起動するか	Disabled=Option
		(Disabled / PXE /	どうかを指定します。起動	ROM を起動しない
		iSCSI)	する場合は Option ROM の	PXE=PXE Option
			タイプを指定します。	ROM を起動する
			BIOS POST 中に適切な	iSCSI=iSCSI Option
			Option ROM が起動する場	ROM を起動する
			合は、ブートデバイスとし	
			て LAN コントローラーを	
			使用できます。	
			注意 ————————————————————————————————————	
			サーバーのモデルによっ	
			て、LAN 2 コントローラー	
			がない場合があります。そ	
			の場合、本項目を無効化し	
			てください。	
			サーバーのモデルによっ	
			て、 BIOS の設定値が	
			「Disabled / Enabled」にな	
			っている場合があります。	
			BIOS の設定値を	
			「Enabled」にしたい場合、	
			本項目で「 PXE 」を指定し	
			てください。	
0	ptio	on ROM Configuration	1	
	La	aunch Slot X OpROM	各 PCI スロットに搭載され	Enabled=拡張 ROM

項	〔目	名	説明	設定値
	((Enabled / Disabled)	たオプションカードの拡張	を実行する
			ROM 実行を指定します。	Disabled=拡張 ROM
			プロファイルでは多くのス	を実行しない[注 1]
			ロットに対して指定できま	
			すが、実機上に存在しない	
			スロットに対しては設定し	
			ないでください。	
С	SN	I Configuration		
	La	aunch CSM	CSM (Compatibility Support	Enabled=CSM を実行
	((Enabled / Disabled)	Module)を実行するかどう	する
			かを指定します。	Disabled=CSM を実行
			CSM がロードされている場	しない[注 2]
			合のみ、レガシーオペレー	
			ティングシステムを起動で	
			きます。	
		Boot Option Filter	どちらのドライブからブー	UEFI and Legacy=
		(UEFI and Legacy /	トできるかを指定します。	UEFIOS ドライブお
		UEFI only / Legacy		よび Legacy OS ドラ
		only)		イブからブート可能
				UEFI only=UEFI OS
				ドライブからのみブー
				ト可能[注 3]
				Legacy only=Legacy
				OS ドライブからのみ
				ブート可能[注 3]
		Launch PXE OpRom	起動する PXE Option ROM	UEFI only=UEFI
		Policy	を指定します。	Option ROM のみ起動
		(UEFI only / Legacy	PXE ブートの場合は、使用	する[注 3][注 4]
		only / Do not launch)	可能な通常の(Legacy)	Legacy only=Legacy
			PXE ブートおよび UEFI	Option ROM のみ起動
			PXE ブートがあります。	する [注 3]
				Do not launch=Option
				ROM を起動しない[注
				5]
		Launch Storage OpRom	起動する Storage Option	UEFI only=UEFI

項目名		説明	設定値
	Policy	ROM を指定します。	Storage Option ROM
	(UEFI only / Legacy		のみ起動する
	only / Do not launch)		Legacy only=Legacy
			Storage Option ROM
			のみ起動する
			Do not launch=Storage
			Option ROM を起動し
			ない
	Other PCI Device Rom	ネットワーク、マスストレ	UEFI only=UEFI
	Priority	ージデバイス、ビデオ以外	Option ROM のみ起動
	(UEFI only / Legacy	のデバイスで起動する	する
	only)	Option ROM を指定しま	Legacy only=Legacy
		す。	Option ROM のみ起動
			する
U	SB Configuration		
	Onboard USB Controllers	システムボードの USB コン	Disabled=オンボード
	(Enabled / Disabled)	トローラーを有効または無	USB コントローラーを
		効にできます。	無効にする
		オンボード USB コントロー	Enabled=オンボード
		ラーが無効な場合は、接続	USB コントローラーを
		されるすべての USB デバイ	有効にする
		スを使用できません。ロー	
		カル接続されるキーボー	
		ド、マウス、大容量ストレ	
		ージに加え、iRMC を使用す	
		るキーボード、マウス、大	
		容量ストレージや、内部接	
		続 USB デバイスも使用でき	
		ません。	
Ν	etwork Stack		
	Network Stack	UEFI Network Stack を	Disabled=UEFI ネッ
	(Enabled / Disabled)	UEFI でネットワークアクセ	トワークスタックの使
		スに使用できるかどうかを	用を許可しない[注
		設定します。	2][注 4]
			Enabled=UEFI ネッ

項目名		名	説明	設定値
				トワークスタックの使
				用を許可する
		IPv4 PXE Support	IPv4 による PXE UEFI Boot	Disabled=IPv4 によ
		(Enabled / Disabled)	を UEFI モードで使用でき	る PXE UEFI Boot の
			るかどうかを指定します。	使用を許可しない
				Enabled=IPv4 による
				PXE UEFI Boot の使
				用を許可する
		IPv6 PXE Support	IPv6 による PXE UEFI Boot	Disabled=IPv6 によ
		(Enabled / Disabled)	を UEFI モードで使用でき	る PXE UEFI Boot の
			るかどうかを指定します。	使用を許可しない
				Enabled=IPv6 による
				PXE UEFI Boot の使
				用を許可する
S	ecı	ire Boot Configuration		
	S	ecure Boot Control	署名されていないブートロ	Disabled=すべてのブ
		(Enabled / Disabled)	ーダ/UEFI OpROM のブート	ートローダ/OpROM
			を許可するかどうかを指定	(Legacy/UEFI)を実
			します。	行する
			注意	Enabled=署名された
				ブートローダ/UEFI
			本設定はハードウェアの仕	OpROM のブートのみ
			様として Disabled にできな	許可する
			い場合があります。その場	
			合、サーバーの BIOS インタ	
			ーフェースから値を設定し	
			てください。	
S	erv	er Mgmt		
	S	ync RTC with MMB	Real Time Clock をマネジメ	Disabled=同期しない
		(Enabled / Disabled)	ントブレードと同期させる	Enabled=同期する
		(PRIMERGY BX シリーズ	かどうかを指定します。	
	Ø,)み)		
		Adjust Date Time	プロファイル適用時に、サ	Local Time=管理サー
		(Local Time / UTC)	ーバーの時刻を管理サーバ	バーのタイムゾーン設
			ーの時刻を基準にして変更	定に応じた時刻を指定

項目名	説明	設定値
	します。	する
	Sync RTC with MMB ಸೆ	UTC=管理サーバーの
	Disabled の場合のみ設定で	タイムゾーン設定から
	きます。	UTC に変換した時刻を
	注意	指定する
	本項目はサーバーの BIOS セ	
	ットアップユーティリティ	
	の設定項目ではありませ	
	\mathcal{K}_{\circ}	
	BIOS 設定を変更するのでは	
	なく、対象サーバーの時刻	
	(RTC)をプロファイル適	
	用時に一度だけ変更する機	
	能であり、すべての	
	PRIMERGY BX シリーズで	
	使用可能です。	

[注 1] PXE ブートに使用する PCI カードスロットの Launch Slot X OpROM が"Disabled" の場合、サーバーのモデルによって、PXE ブートに失敗することがあります。

[注 2] Launch CSM と Network Stack が共に"Disabled"の場合、OS インストールに失敗します。

[注 3] Boot Option Filter が"UEFI only"または"Legacy only"で、Boot Option Filter

と Launch PXE OpRom Policy が一致しない場合、OS インストールに失敗します。

[注 4]Launch PXE OpRom Policy が"UEFI only"で NetworkStack が"Disabled"の場合、OS インストールに失敗します。

[注 5]Launch PXE OpRom Policy が"Do not launch"の場合、OS インストールに失敗します。

iRMCタブ

項	自名	説明	設定値
iF	RMC GUI		
	デフォルト言語	言語の初期設定を行いま	英語=デフォルト言語を英
	(英語 / ドイツ語 / 日	す。	語にする
	本語)	次回 iRMC Web インター	ドイツ語=デフォルト言語

項目名		説明	設定値
		フェースを呼び出す際に有	をドイツ語にする
		効になります。	日本語=デフォルト言語を
雪			日本語にする
甩		此が、打動吐は一日が	打動処体 ーニーパジルト
	POSTエフー時の動作	サーハー起動時にエフーか	起動継続=エフーか発生し
	(起動継続/起動停	発生した場合の対応動作を	ても、起動処理を続ける
	LE)	設定します。	起動停止=エフーが発生す
			ると、キー入力があるまで
			起動を停止する
	電源復旧時動作設定	AC 電源入力が切断されたあ	電源断前の状態に戻す=電
	(電源断前の状態に戻	と、電源復旧した際の電源	源切断発生時の状態を保持
	す / 電源投入しない /	動作を設定します。	する(切断時にサーバーが
	電源投入する)		電源オン中だった場合は電
			源投入する。電源オフ中だ
			った場合は電源投入しな
			(い)
			電源投入しない=常に電源
			オフになる
			電源投入する=常に電源オ
			ンになる
	電力制御	サーバーの省電力動作や静	OS によるコントロール=
	(OS によるコントロー	音動作に関する設定を行い	OS の制御に従う
	ル / 省電力動作)	ます。	省電力動作=消費電力を抑
		注意	えることを優先した動作と
			なる
		BIOS 設定で、Enhanced	(スケジュール) =プロフ
		Speed Step を無効に設定し	ァイル管理では設定できな
		た場合、本制御も無効とな	$\langle v \rangle$
		ります。	(電力制限)=プロファイ
			ル管理では設定できない
フ	アンテスト		
	ファン確認時刻	ファンテストを実行する場	ファンテストの開始時刻を
		合に有効になります。	入力する。
	ファンテスト無効化	定期的なファンの診断を行	(チェックあり)=ファン
		うかどうかを設定します。	テストを行わない

項	间名	説明	設定値
			(チェックなし)=毎日指
			定した時刻にテストを行う
ソ	フトウェアウォッチドック	8	
	ソフトウェアウォッチ	ソフトウェアウォッチドッ	有効=通信監視を行う
	ドッグ(有効 / 無	グで、OS 動作中に定期的	無効=通信監視を行わない
	効)	な通信チェックをするかど	
		うかを指定します。	
		注意	
		設定はサーバー冉起動後に	
	~ ~ ~ ~	有効となります。	
	動作	通信が行えない場合の動作	ブルダウンから以下を選択
		を指定します。	する。
		<u> </u>	継続稼働=特に何も行わな
		設定はサーバー再起動後に	
		有効となります。	リセット=サーバーの冉起
			動を行う
			パワーサイクル=一度サー
			バーを電源オブにしたあ
			と、電源オンを行う
	タイムアウト時間	通信できないと判断する時	1~100 分までの数値を指
		間を指定します。	定する。
		沙辛	
		設定はサーバー再起動後に	
		有効となります。	
В	oot ウォッチドッグ		
	Boot ウォッチドッグ	Boot ウォッチドッグで、	有効=時間監視を行う
	(有効 / 無効)	POST 終了後から OS 起動	無効=時間監視を行わない
		までの時間を監視するかど	
		うかを指定します。	
		注意	
		設定はサーバー再起動後に	

項	〔目:	名	説明	設定値
			有効となります。	
	動	」作	指定した時間内に OS が起	プルダウンから以下を選択
			動しない場合の動作を指定	する。
			します。	継続稼働=特に何も行わな
			注意	$\langle v \rangle$
				リセット=サーバーの再起
			設定はサーバー再起動後に	動を行う
			有効となります。	パワーサイクル=一度サー
				バーを電源オフにしたあ
				と、電源オンを行う
	タ	イムアウト時間	OS が起動しないと判断す	1~100 分までの数値を指
			る時間を指定します。	定する。
			注意	
			設定はサーバー冉起動後に	
			有効となります。	
時	刻			
	タ	イムモード	iRMC の時刻設定を管理対	System RTC=管理対象サ
	((システム RTC / NTP	象サーバーから取得する、	ーバーのシステムクロック
	サ	バー)	または NTP サーバーから取	から iRMC の時刻を取得す
			得するかどうかを指定しま	3
			す。	NTP Server=ネットワーク
				タイムプロトコル(NTP)
				を使用して独自の時刻を参
				照時刻ソースとして動作す
				る NTP サーバーと iRMC
		Γ		の時刻を同期する
		RTC モード	iRMC の時刻を UTC (協定	ローカルタイム=iRMC の
		(ローカルタイム /	世界時)形式で表示する、	時刻をローカルタイム形式
		UTC)	またはローカルタイム形式	で表示する
			で表示するかを選択できま	UTC=iRMC の時刻を
			す。	UTC (協定世界時) 形式で
				表示する
		NTP サーバー 0	プライマリー NTP サーバ	IP アドレスまたは DNS 文
			ーの IP アドレスまたは	字列を入力する。

項目名		説明	設定値
		DNS 名を指定します。	
	NTP サーバー 1	セカンダリ NTP サーバー	IP アドレスまたは DNS 文
		の IP アドレスまたは DNS	字列を入力する。
		名を指定します。	
	タイムゾーン	サーバーのある場所に対応	プルダウンから選択する。
		するタイムゾーンを設定で	
		きます。	
ボ	『ート番号とネットワークサ	ービス設定	
	Telnet 有効(有効 /	Telnet 接続を有効にするか	有効=Telnet 接続を有効に
	無効)	どうかを指定します。	する
			無効=Telnet 接続を無効に
			する
	Telnet ポート (初期値:	iRMC の Telnet ポート番号	ポート番号を入力する。
	3172)	を指定します。	初期値は 3172
	SSH 有効(有効/無	ssh 接続を有効にするかど	有効=ssh 接続を有効にす
	効)	うかを指定します。	る
			無効=ssh 接続を無効にす
			る
	SSH ポート (初期値:	ssh の Telnet ポート番号を	ポート番号を入力する。
	22)	指定します。	初期値は 22
S	NMP 一般設定		
	SNMP 有効	SNMP を有効にするかどう	有効=SNMP を有効にする
		かを指定します。	無効=SNMP を無効にする
		注意	
		iRMC の WebUI 画面にない	
		設定項目は設定できませ	
		ん。ファーム版数により、	
		一部の設定項目はiRMCの	
		WebUI 画面に設定項目があ	
		っても設定できません。プ	
		ロファイルの適用に失敗す	
		る場合は、設定項目を無効	
		化してください。	
	SNMP ポート(初期値:	SNMP サービスが待機して	ポート番号を入力する。

項目名	説明	設定値
161)	いるポート番号を指定しま す。 注意	初期値は UDP 161
	iRMC の WebUI 画面にない 設定項目は設定できませ ん。ファーム版数により、 一部の設定項目は iRMC の WebUI 画面に設定項目があ っても設定できません。プ ロファイルの適用に失敗す る場合は、設定項目を無効 化してください。	
SNMP サービスプロト コル (全て(SNMPv1/v2c/v3)	SNMP サービスプロトコル を指定します。 注意	全て(SNMPv1/v2c/v3)=全 プロトコルサポート (SNMPv1/v2c/v3)
/ SNMPv3 のみ)	iRMCのWebUI画面にない 設定項目は設定できませ ん。ファーム版数により、 一部の設定項目はiRMCの WebUI画面に設定項目があ っても設定できません。プ ロファイルの適用に失敗す る場合は、設定項目を無効 化してください。	SNMPv3 のみ=SNMPv3 の みサポート
SNMPv1/v2c コミュニ ティー名	 SNMP v1/v2c の場合のコミ ュニティー文字列を指定し ます。 注意 iRMC の WebUI 画面にない 設定項目は設定できませ ん。ファーム版数により、 一部の設定項目は iRMC の WebUI 画面に設定項目があ 	コミュニティー文字列を入 力する。

項	頁目名	説明	設定値
S	NMPv3 ユーザー設定	っても設定できません。プ ロファイルの適用に失敗す る場合は、設定項目を無効 化してください。	
	SNMPv3 有効	ユーザーに対して SNMPv3	有効=SNMPv3 サポートを
	(有効 / 無効)	サポートを有効にするかど	有効にする
		うかを指定します。 ※ 	無効=SNMPv3 サポートを
		注意	無効にする
		 SNMPv3ユーザーを作成/変更するには、[ネットワーク設定] -> [SNMP]でSNMPを有効にする必要があります。 SNMPv3を使用するには最低8文字のパスワードを設定する必要があります。 iRMCのWebUI画面にない設定項目は設定できません。ファーム版数により、一部の設定項目は設定項目があっても設定できません。プロファイルの適用に失敗する場合は、設定項目を無効化してください。 	
	SNMPv3 アクセス権	ユーザーのアクセス権限を	常に読み取りのみとなる。
		指定します。 沈音	
		 SNMPv3ユーザーを作成/変更するには、[ネットワーク設定] -> [SNMP]でSNMPを有効にする必要があります。 SNMPv3を使用するに 	

項目名	説明	設定値
項目名 認証 (SHA / MD5 / 無効)	 説明 は最低8文字のパスワードを設定する必要があります。 iRMCのWebUI画面にない設定項目は設定できません。ファーム版数により、一部の設定項目は設定項目があっても設定できません。プロファイルの適用に失敗する場合は、設定項目を無効化してください。 SNMPv3 が認証に使用する認証プロトコルを選択します。 注意 SNMPv3ユーザーを作成/変更するには、[ネットワーク設定] -> [SNMP]でSNMPを有効にする必要があります。 SNMPv3を使用するには最低8文字のパスワードを設定する必要があります。 iRMCのWebUI画面にない設定項目は設定項目は設定項目は設定できまし、ファーム版数により、一部の設定項目に設定項目があっても認定できません。ファーム版数により、一部の設定項目は設定項目があっても設定できません。プロファイルの適用に失敗する場合は、設定項目 	設定値 SHA=SHAを使用する MD5=MD5を使用する 無効=認証を無効にする
	を無効化してくたさ い。	
暗号化	SNMPv3 が SNMPv3 トラフ	AES=AES を使用する
(AES / DES / 無効)	イックの暗号化に使用する	DES=DES を使用する
	暗号化プロトコルを指定し	無効=暗号化を無効にする

項	间名	説明	設定値
		 ます。 注意 SNMPv3ユーザーを作成/変更するには、[ネットワーク設定] -> [SNMP]でSNMPを有効にする必要があります。 SNMPv3を使用するには最低8文字のパスワードを設定する必要があります。 IRMC の WebUI 画面にない設定項目は設定できません。ファーム版数により、一部の設定項目は iRMC の WebUI 画面に設定項目があっても設定できません。プロファイルの適用に失敗する場合は、設定項目を無効化してくだ 	
		さい。	
S	NMP トラップ送信先		
	SNMP トラップコミュ	SNMP トラップコミュニテ	SNMP トラップコミュニテ
	ニティー	ィーを指定します。	ィー文字列を入力する。
	SNMP ユーザー	SNMPv3 トラップ送信先に 定義済みの SNMPv3 ユーザ ーを指定します。 注意	SNMP ユーザー文字列を入 力する。
		iRMC の WebUI 画面にない 設定項目は設定できませ ん。ファーム版数により、 一部の設定項目は iRMC の WebUI 画面に設定項目があ っても設定できません。プ ロファイルの適用に失敗す る場合は、設定項目を無効	

項	頁目名	説明	設定値
		化してください。	
	送信先 SNMP サーバー	「トラップ送信先」として	SNMP サーバーの IP アド
	1-7	設定するコミュニティーに	レス、または DNS 文字列
		属するサーバーの DNS 名ま	を入力する。
		たは IP アドレスを指定しま	
		す。	
	プロトコル	トラップの受信に使用する	プルダウンから以下を選択
		SNMP プロトコルバージョ	する。
		ンを指定します。	SNMPv1、SNMPv2c、
		注意	SNMPv3
		iRMC の WebUI 画面にない	
		設定項目は設定できませ	
		ん。ファーム版数により、	
		一部の設定項目はiRMCの	
		WebUI 画面に設定項目があ	
		っても設定できません。プ	
		ロファイルの適用に失敗す	
		る場合は、設定項目を無効	
		化してください。	
A	IS Connect	l	
	AIS Connect	AIS Connect を有効にする	有効=AIS Connect を有効
		かを指定します。	にする
			無効=AIS Connect を無効
			にする
	サービスモード	Service Mode を有効にする	有効=Service Mode を有効
		かを指定します。	にする
			無効=Service Mode を無効
			にする
	国名	AIS Connect RP(Reverse	プルダウンから国名を選択
		Proxy) 国を指定します。	する。
	リモートセッション	リモートセッションを有効	許可=リモートセッション
		にするかを指定します。	を許可する
			拒否=リモートセッション
			を拒否する

項目名	説明	設定値		
プロキシサーバー	HTTP プロキシサーバーを	(チェックあり)=プロキ		
	使用するかを指定します。	シを使用する		
		(チェックなし) =プロキ		
		シを使用しない		
プロキシサーバー				
アドレス	プロキシサーバーの IP ア	IP アドレス、またはプロキ		
	ドレス、またはプロキシサ	シサーバー名文字列を入力		
	ーバー名を指定します。	する。		
ポート番号(初期値: 81)	プロキシサービスの ポート	ポート番号を入力する。		
	番号を指定します。	初期値は 81		
ユーザー名	プロキシサーバーで認証す	プロキシユーザー名文字列		
	るユーザー名を指定しま	を入力する。		
	す。			
パスワード	プロキシサーバーで認証す	パスワード文字列を入力す		
	るパスワードを指定しま	る。		
	す。			
DNS				
DNS	iRMC の DNS を有効にす	(チェックあり)=DNS を		
	るかを指定します。	有効にする		
		(チェックなし)=DNS を		
		無効にする		
DNS 設定	DHCP から DNS 構成を取	(チェックあり)=DHCP		
	得するかを指定します。	サーバーから DNS 構成を		
	注意	取得する		
		(チェックなし)=DHCP		
		サーバーから DNS 構成を		
		取得しない		
	1-3」を設止りる場合、平頃			
	日で(フェックなし)を指			
	化しててたでV'。 木佰日お右為にナス坦ム			
	本項日で有効にする場合、 車前に DHCD を右効にして			
DNS ドメイン	NNS サーバーへの亜求に対	DNS ドメイン文字列を入力		
	するデフォルトドメインの	する.		
	するテノオルトトメインの	りる。		
項	項目名		説明	設定値
---	-----	-----------------	------------------	------------------
			名前を指定します。	
		DNS 検索パス	DNS 検索パスをリストで指	DNS 検索パス文字列を入力
			定します。	する。
		DNS サーバー 1-3	DNS サーバーの IP アドレ	DNS IP アドレス文字列を
			スを指定します。	入力する。
		DNS リトライ	DNS リトライ回数を指定し	1~5回までの数値を指定す
			ます。	る。
				初期値は 2
		DNS タイムアウト	DNS 応答のタイムアウト	1~30 秒までの数値を指定
			(秒)を指定します。	する。
				初期値は 5
D	NS	名登録		
	D	NS名登録	iRMC の DNS 名の設定方	なし=iRMC に名前を登録
			法を指定します。	しない
				DHCP アドレスを DNS に
				登録=DHCP サーバーへの
				DHCP 名の転送を有効にす
				る
				DHCP サーバーによる 完
				全修飾ドメイン名 を DNS
				へ登録=DHCP サーバーへ
				の FQDN の転送を有効に
				する
				動的 DNS 有効=
				動的 DNS を使用した
				DNS レコードのアップデ
				ートを有効にする
	iR	MC 名の使用	「iRMC 名」に指定された	(チェックあり)=iRMC
		(有効 / 無効)	文字列が、サーバー名の代	名を使用する
			わりに iRMC に使用されま	(チェックなし)=iRMC
			す。	名を使用しない
		iRMC 名	DNS名の一部として使用さ	iRMC 名文字列を入力す
			れる iRMC 名を指定しま	る。
			す。	

項	〔目	名	説明	設定値
			注意	
			下記以外の場合、ドット(.)	
			は期待通りの動作をしない	
			ため、指定しないでくださ	
			k vo	
			PRIMERGY RX/TX/CX M4	
			以降、PRIMEQUEST	
			3000B	
	Μ	IAC アドレスを使用	iRMC の MAC アドレスの	(チェックあり)=MAC
			最後の 3 バイトを iRMC	アドレスを DNS 名に付加
			の DHCP 名に付加するか	する
			を指定します。	(チェックなし) =MAC
				アドレスを DNS 名に付加
				しない
	扐	広張子を使う	「拡張子名」に指定された	(チェックあり)=拡張子
			拡張名を、iRMC の DHCP	を付加する
			名に付加するかを指定しま	(チェックなし)=拡張子
			す。	を付加しない
		拡張子	iRMC の拡張子名を指定し	拡張子文字列を入力する。
			ます。	
S	imp	ole Service Discovery Pre	otocol (SSDP)	
	S	SDP	SSDP 経由での自動検出を	(チェックあり)=自動検
			有効にするかを指定しま	出する
			す。	(チェックなし)=自動検
				出しない
中	央	認証サービス(CAS)		
	С	AS サポート	CAS を有効にするかを指定	(チェックあり)=CAS を
			します。	有効にする
				(チェックなし)= CAS を
				無効にする
С	CAS サーバー [注 1]			
	サ	バ-	CAS サーバーの DNS 名ま	CAS サーバーの IP アドレ
			たは IP アドレスを指定しま	ス、または DNS 文字列を
			す。	入力する。

項	〔目名	説明	設定値
	ネットワークポート	CAS サービスが待機してい	ポート番号を入力する。
		るポート番号を指定しま	初期値は 3170
		す。	
	SSL 証明書確認	SSL 証明書確認を有効にす	(チェックあり)= SSL 証
		るかを指定します。	明書確認を有効にする
			(チェックなし)= SSL 証
			明書確認を無効にする
	ログインページ表示	ログインページを常に表示	(チェックあり)=ログイ
		するかを指定します。	ンページを常に表示する
			(チェックなし)=ログイ
			ンページを常に表示しない
	ログイン URL	ログイン URL を指定しま	ログイン URL を入力す
		す。	る。
			初期値は /cas/login
	ログアウト URL	ログアウト URL を指定しま	ログアウト URL を入力す
		す。	る。
			初期値は /cas/logout
	認証URL	認証 URL を指定します。	認証 URL を入力する。
			初期値は /cas/validate
	アクセス許可の割り当	アクセス許可を指定しま	常にローカルとなる。
	T	す。	
Л	ーザー権限とパーミッショ	ン [注 1]	
	権限レベル	ユーザーの権限レベルを指	ユーザー=ユーザー権限を
		定します。	使用する
			オペレーター=オペレータ
			ー権限を使用する
			管理者=管理者権限を使用
			する
			OEM=OEM 権限を使用す
			る
	Redfish ロール	Redfish ロールを指定しま	管理者=管理者ロールを使
		す。	用する
			オペレーター=オペレータ
			ーロールを使用する
			リードオンリー=リードオ

項	〔目名	説明	設定値
			ンリーロールを使用する
			No Access=Redfish を使用
			しない
	ユーザーアカウント変	ユーザー変更権限を有効に	(チェックあり)=ユーザ
	更	するかを指定します。	ー変更権限を有効にする
			(チェックなし)=ユーザ
			ー変更権限を無効にする
	iRMC 設定変更	iRMC 設定変更権限を有効	(チェックあり)=iRMC
		にするかを指定します。	設定変更権限を有効にする
			(チェックなし)=iRMC
			設定変更権限を無効にする
	ビデオリダイレクショ	ビデオリダイレクション使	(チェックあり)=ビデオ
	ン使用	用権限を有効にするかを指	リダイレクション使用権限
		定します。	を有効にする
			(チェックなし)=ビデオ
			リダイレクション使用権限
			を無効にする
	リモートストレージ使	リモートストレージ使用権	(チェックあり)=リモー
	用	限を有効にするかを指定し	トストレージ使用権限を有
		ます。	効にする
			(チェックなし) =リモー
			トストレージ使用権限を無
			効にする
自	動 BIOS パラメーターバッ	クアップ	
	自動 BIOS パラメーター	自動 BIOS パラメーターバ	(チェックあり)=自動
	バックアップ	ックアップを有効にするか	BIOS パラメーターバック
		どうかを指定します。	アップを有効にする
		注意	(チェックなし) =自動
		またいり、シープおものに	BIOS パラメーターバック
		設定はサーバー再起動後に	アップを無効にする
-		有効となります。	
7	ッファート [注 2](ISM 2.	5.0.010 以降)	
	リボジトリの場所	eLCM アップデートに使用	アップデートリポジトリの
		するアップデートリポジト	URL を入力する。
		リの URL を指定します。	初期値は

項目名		説明	設定値
			「https://support.ts.fujitsu.c
			om」
	プロキシサーバー	アップデートリポジトリへ	(チェックあり)=プロキ
		の接続にプロキシサーバー	シサーバーを使用する
		を使用するかを指定しま	(チェックなし) =プロキ
		す。	シサーバーを使用しない
	VMware HCL 確認	VMware ハードウェア互換	(チェックあり)=スキッ
		性検証をスキップするかを	プする
		指定します。	(チェックなし) =スキッ
			プしない
	SSL/TLS 証明書有効性	SSL/TLS 証明書有効性確認	(チェックあり)=スキッ
	確認	をスキップするかを指定し	プする
		ます。	(チェックなし) =スキッ
			プしない
テ	^ジ プロイメント [注 2](ISM	2.5.0.010以降)	
	リポジトリの場所	eLCM アップデートに使用	デプロイメントリポジトリ
		するデプロイメントリポジ	の URL を入力する。
		トリの URL を指定します。	初期値は
			「https://webdownloads.ts.
			fujitsu.com]
	プロキシサーバー	デプロイメントリポジトリ	(チェックあり)=プロキ
		への接続にプロキシサーバ	シサーバーを使用する
		ーを使用するかを指定しま	(チェックなし) =プロキ
		す。	シサーバーを使用しない
	SSL/TLS 証明書有効性	SSL/TLS 証明書有効性確認	(チェックあり)=スキッ
	確認	をスキップするかを指定し	プする
		ます。	(チェックなし) =スキッ
			プしない

[注 1]:「CAS サーバー」「ユーザー権限とパーミッション」を設定する場合、本項目で (チェックあり)を指定してください。

[注 2]:「アップデート」「デプロイメント」を設定する場合、対象サーバーに eLCM ライ センスの登録と、SD カードの搭載が必要です。

2. PRIMEQUEST 2000 · PRIMEQUEST 3000E シリーズ パーティション用プ

ロファイルの MMB 設定項目

プロファイル中の MMB タブで設定可能な項目を記載します。

MMBタブ

項	〔目:	名	説明	設定値
А	uto	matic Server Restart		
	対	象とする Number of Restart Tries	ASR (Automatic Server Restart) を設定するかど うかを指定します。 ウォッチドッグやハード ウェアエラーで OS がシ	 (チェックあり)=設定を 行う (チェックなし)=設定を 行わない 再起動の有無の選択、およ び回数(1~10)を指定す
			サエアエア ている パマ ャットダウンした場合 に、OS をリスタートする リトライ回数を設定しま す。	る。
		Action after exceeding Restart tries	上記リトライ回数を超え た場合の動作を設定しま す。	電源 OFF=リブート処理を 止め、パーティションの電 源を OFF にする(Stop rebooting and Power off) 停止=リブート処理を止 め、パーティションを停止 する(Stop rebooting) NMI 割込み=リブート処理 を止め、パーティションに 対して NMI 割り込みを指示 する(Diagnostic Interrupt assert)
в	Boot Watchdog			
	対象とする		ブートウォッチドッグを 設定するかどうかを指定 します。	(チェックあり)=設定を 行う (チェックなし)=設定を 行わない
		Boot Watchdog	ブートウォッチドッグの 有効/無効化のことです。	(チェックあり)=時間監 視を行う

項目名		名	説明	設定値
			OS 起動までの時間を監視	(チェックなし)=時間監
			するかどうかを指定しま	視を行わない
			す。	
		Timeout	ここで指定した時間を超	1~6000 秒までの数値を指
		time(seconds)	えて OS が起動しない場	定する。
			合に異常と判断されま	
			す。	
		Action when	指定した時間を超えて OS	Continue(継続稼働)=処理
		watchdog expires	が起動しない場合の動作	を継続する
			を指定します。	Reset(リセット)=再起動を
				行う
				Power Cycle(パワーサイク
				ル)=一度電源 OFF したあ
				と、電源 ON を行う
S	oftv	vare Watchdog		
	対	象とする	ソフトウェアウォッチド	(チェックあり)=設定を
			ッグを設定するかどうか	行う
			を指定します。	(チェックなし)=設定を
				行わない
		Software Watchdog	ソフトウェアウォッチド	(チェックあり)=通信チ
			ッグの有効/無効化のこと	エックを行う
			です。	(チェックなし)=通信チ
			OS 動作中に定期的な通信	エックを行わない
			チェックをするかどうか	
			を指定します。	
		Timeout	ここで指定した時間を超	1~6000 秒までの数値を指
		time(seconds)	えて通信ができない場合	定する。
			に異常と判断されます。	
		Action when	指定した時間を超えて通	Continue(継続稼働)=処理
		watchdog expires	信ができない場合の動作	を継続する
			を指定します。	Reset(リセット)=再起動を
				行う
				Power Cycle(パワーサイク
				ル)=一度電源 OFF したあ
				と、電源 ON を行う

項目名			説明	設定値
				NMI=NMI を発生させる

3. サーバー用プロファイルの OS 設定項目

プロファイル中の OS/OS 個別情報タブで設定可能な項目を記載します。省略可の記載が ある項目はプロファイル上で設定をしなくても OS のインストールは可能です。省略した 場合は設定されないか、OS のデフォルトの設定が適用されます。

ポリシーを事前作成することでプロファイル作成に利用できますが、ポリシー設定不可の 記載がある項目は、ポリシーで設定できません。プロファイルを作成する時に設定してく ださい。

3.1. Windows Server 用プロファイル

対象OSは以下のとおりです。

- Windows Server 2008 R2 SP1
- Windows Server 2012
- Windows Server 2012 R2
- Windows Server 2016
- Windows Server 2019

項目名	説明	設定値
インストール形式(ISM 2.5.0.0	010 以降)	
インストール方法	インストール方法を選択 します。 注意	プルダウンから選択する。
	 eLCMを選択する場合、対象サーバーに eLCMライセンスの 登録、SDカードの搭載、elMのダウンロ ードが必要です。 	
	 PRIMEQUEST2000- Partition PRIMEQUEST3000E- Partitionの場合、eLCMは 選択できません。 	

OSタブ

項	〔目:	名	説明	設定値
イ	ン	ストール指定		
	イ	ンストールのタイプ	OS をコアインストール、	画面から選択する。
			フルインストールのどち	
			らでインストールするか	
			を指定します。	
	イ	ンストールメディア[注	インストールに使用する	プルダウンから選択する。
	12	2] [注 14]	メディアの種類を選択し	Microsoft 社メディアを選択
			ます。	した場合は、さらにプロダ
				クトキーの入力が必要。
	Se	erverView Suite DVD	インストールに使用する	最新版数でインストール=
	(最新版数でインストー	ServerView Suite DVD \mathcal{O}	リポジトリに登録されてい
	ル	/版数を指定する)	版数を指定します。	る中で、最も新しいバージ
				ョンの ServerView Suite を
				使用する
				版数を指定する=指定した
				版数の ServerView Suite を
				使用する
管	理	LAN ネットワークポート	設定	
	ネ	ットワークポート指定	管理 LAN に使用するネッ	(チェックあり)=管理
			トワークのポートを指定	LAN のネットワークポート
			します。	を指定する
		指定方法	管理 LAN のネットワーク	プルダウンから選択する。
			ポートの指定方法を選択	
			します。[注 1] [注 2]	
		ネットワークカード	指定方法で、「ポート番	画面から選択する。
			号」を指定した場合に設	PCI カードを選択した場合
			定します。	には、PCI スロット番号を
			使用するネットワークカ	入力する。
			ードの種類を選択しま	
			す。	
		ポート番号	指定方法で、「ポート番	使用するポート番号を入力
			号」を指定した場合に入	する。
			力します。	
		MAC アドレス[注	指定方法で、「MAC アド	使用するネットワークの

項	項目名		説明	設定値
		12]	レス」を指定した場合に	MAC アドレスを入力する。
			入力します。	
	ブ	ートモード指定[注 13]	ブートモードを指定しま	(チェックあり)=ブート
			す。	種別を指定する
		ブート種別	サーバーのブートモード	使用するブートの種別を画
			を変更した場合、または	面から選択する。
			明示的に指定する場合に	
			選択します。	
R)とディスクの構成		
	Г	レイコントローラーを	サーバー内蔵のアレイコ	(選択時)=アレイコント
	使	用する	ントローラーを OS イン	ローラーを使用する[注 3]
			ストール先として使用す	
			る場合に選択します。	
		既存アレイ構成を使用	すでにアレイコントロー	(選択時)=既存のアレイ
		する	ラー上に作成済みのボリ	構成を使用する
		(RAID を使用しない	ュームを使用します。	
		場合も選択します)		
		アレイを新規に構築す	新しくアレイを構築し、	(選択時)=アレイを新規
		る	その中にボリュームを作	に構築する
			成して使用します。	加えて、アレイコントロー
				ラーの種類、RAID レベ
				ル、RAID に組み込むディ
				スクの台数をプルダウンか
				ら選択する。
	Г	レイコントローラーを	アレイコントローラー以	(選択時)=アレイコント
	使	用しない	外のドライブを OS イン	ローラー以外を使用する
			ストール先として使用す	加えて、使用するドライブ
			る場合に選択します。	の種類を画面から選択す
				る。[注 4]
ボ	リ	ューム 1		
	ボ	リュームラベル	ボリューム名を指定しま	ボリューム名文字列を入力
			す。[注5]	する。[注 6]
	フ	ァイルシステム	ファイルシステムの種類	常に NTFS となる。
			を選択します。	
	バ	パーティションサイズ	パーティションのサイズ	自動=自動的に適切なサイ

項	頁目名	説明	設定値
	(自動/指定)	を指定します。	ズでパーティションを作成
			する
			指定=入力したサイズでパ
			ーティションを作成する
	クイックフォーマット	パーティションのフォー	する=クイックフォーマッ
		マット時にクイックフォ	トを行う
		ーマットを利用するかど	しない=通常のフォーマッ
		うかを指定します。	トを行う
			(作業時間は長くなる)
	利用形態	パーティションの用途を	常に Boot、OS となる。
		指定します。	
基	基本設定	·	
	タイムゾーン	タイムゾーンを指定しま	プルダウンから選択する。
		す。	
	地域と言語	地域と言語を指定しま	プルダウンから選択する。
		す。	
	キーボード	キーボードの言語や種類	プルダウンから選択する。
		を指定します。	
シ	/ステム設定		
	画面解像度 [px]	OSインストール直後の画	プルダウンから選択する。
		面解像度を指定します。	[注 7]
			例: 600×480、800×600、
			1024×768、1280×1024
	リフレッシュレート [Hz]	OS インストール直後のデ	プルダウンから選択する。
		ィスプレイのリフレッシ	[注 7]
		ュレートを指定します。	
	画面の色数 [bit]	OS インストール直後の画	プルダウンから選択する。
		面の表示色数をビット数	[注 7]
		で指定します。	
役	と機能の追加		
	SNMP サービスのインス	SNMP サービスをインス	(チェックあり)=SNMP
	トール	トールするかどうかを指	サービスをインストールす
		定します。	3
	SNMP トラップ設定	SNMP トラップ送信時の	追加ボタンを選択して任意
		コミュニティー名とトラ	の数の設定を行う。

項目名		説明	設定値
		ップ送信先を指定しま	【省略可】
		す。	
	コミュニティー	名 SNMP トラップ送信時の	送信時のコミュニティー名
		コミュニティー名を指定	文字列を入力する。
		します。	
	トラップ送信先	SNMP トラップの送信先	送信先の IP アドレス文字列
		を指定します。	を入力する。
	SNMP セキュリティ	ィサ 受け付ける SNMP コミュ	追加ボタンを選択して任意
	ービス	ニティー名とその権利を	の数の設定を行う。
		指定します。	【省略可】
	受け付けるコミ	ュニ 受け付ける SNMP コミュ	受け付けるコミュニティー
	ティー名	ニティー名を指定しま	名文字列を入力する。
		す。	
	コミュニティー(の権 受け付ける SNMP コミュ	プルダウンから選択する。
	利	ニティーの権利を指定し	None=なし
		ます。	Read Create=読み取り、
			作成
			Read Write=読み取り、書
			き込み
			Read Only=読み取りのみ
			Notify=通知
	認証トラップの送信	言 未知のホストまたはコミ	(チェックあり)=認証ト
		ュニティーからの SNMP	ラップを送信する
		要求があった場合に認証	(チェックなし)=認証ト
		トラップを送信するかど	ラップを送信しない
		うかを指定します。	
	SNMP パケットのき	受付 Localhost からの SNMP	(デフォルトのホストから
	(デフォルトのホス	、ト パケットを受け付けるか	SNMP パケットを受け付け
	から SNMP パケッ	トを どうかを指定します。	る (LocalHost)) =
	受け付ける		Localhost からの SNMP パ
	(LocalHost)/ これら	のの	ケットを受け付ける
	ホストから SNMP	パケ	(これらのホストから
	ットを受け付ける)		SNMP パケットを受け付け
			る)=次に指定したホスト
			名からの SNMP パケットを

項	目	名	説明	設定値
				受け付ける。加えて、ホス ト名を記載する
		SNMP 設定エージェン	連絡先と物理的な位置を	日本語を含む文字列が使用
		F	入力する。	可能。
				【省略可】
		サービス	SNMP ホストに関する情	任意のサービスをチェック
			報を5つのオプションか	する。
			ら指定します。	
	IJ	モートデスクトップ	リモートデスクトップの	(チェックあり)=リモー
			利用可否を指定します。	トデスクトップを有効にす
				る
				(チェックなし) =リモー
				トデスクトップを無効にす
				3
	IJ	モートアシスタンス	リモートアシスタンスの	許可する範囲を画面で指定
	(インストールのタイプ	利用可否を指定します。	する。
	が	フルの場合のみ)		必要に応じて招待の有効時
				間も指定する。
	フ	ァイアウォール設定	対象サーバーを SCVMM	(チェックあり)=ファイ
			へ登録する際に必要とな	アウォール例外を作成する
			るファイアウォールの例	(チェックなし)=ファイ
			外を作成します。	アウォール例外を作成しな
			以下のアプリケーション	$\langle v \rangle$
			からのアクセスが有効に	
			なります。	
			 Windows Management 	
			Instrumentation(WMI)	
			 ファイルとプリンタ 一の共有 	
	追	加アプリケーション		
		Java Runtime	Java Runtime	(チェックあり)=アプリ
		Environment	Environment をインスト	ケーションをインストール
			ールするかどうかを指定	する[注 8]
			します。	
			ServerView RAID	

項	項目名		説明	設定値
			Manager をインストール	
			する場合には必ず指定し	
			てください。	
		ServerView エージェン	ServerView エージェント	(チェックあり)=アプリ
		F	をインストールするかど	ケーションをインストール
			うかを指定します。	する [注 9]
			SNMP サービスをインス	
			トールする場合に指定で	
			きます。	
		ServerView アップデー	ServerView アップデート	(チェックあり)=アプリ
		トエージェント	エージェントをインスト	ケーションをインストール
			ールするかどうかを指定	する [注 9]
			します。	
			ServerView エージェント	
			をインストールする場合	
			に指定できます。	
		DSNAP	DSNAP をインストールす	(チェックあり)=アプリ
			るかどうかを指定しま	ケーションをインストール
			す。	する [注 10]
		ソフトウェアサポート	ソフトウェアサポートガ	(チェックあり)=アプリ
		ガイド	イドをインストールする	ケーションをインストール
			かどうかを指定します。	する [注 10]
		ServerView RAID	ServerView RAID	(チェックあり)=アプリ
		Manager	Manager をインストール	ケーションをインストール
			するかどうかを指定しま	する
			す。	
イ	ン	ストール後のスクリプト実	〔行	
	イ	ンストール後のスクリ	インストール後にスクリ	(チェックあり)=インス
	ブ	。卜実行	プトを実行するかどうか	トール後にスクリプトを実
			を指定します。	行する
		OS に転送するディレ	インストール後、OS に転	インストール後、OS に転
		クトリ	送するディレクトリを指	送するディレクトリを指定
			定します。	する。
		実行するスクリプト	実行するスクリプトを指	実行するスクリプトを指定
			定します。 [注 11]	する。

[注 1]: CNA カードの Universal Multi-Channel(UMC)機能が有効になっている場合は、ポート番号ではなく、MAC アドレスを設定してください。

[注 2]: PRIMEQUEST 2000・PRIMEQUEST 3000E シリーズでは、ポート番号による指定ができません。ネットワークポート指定を行う場合、MAC アドレスを指定してください。
[注 3]: アレイコントローラーを使用する場合、BIOS の「Onboard Device Configuration」
設定と矛盾がないように設定してください。

[注 4]: PRIMEQUEST 2000・PRIMEQUEST 3000E シリーズでは、iSCSI に対応していま せん。対応状況は、サーバーと ServerView Suite DVD のマニュアルを参照してくださ い。

[注 5]: ServerView Suite DVD V11.16.04 以降を使用した場合、ボリューム名が設定されないことがあります。その場合、ボリューム名を手動で設定してください。

[注 6]: Windows Server 2016 の場合、ボリューム名は半角の英数字・記号で設定してくだ さい。

[注 7]: OS でサポートしていない値を設定した場合、デフォルト設定でインストールされます。

[注 8]:「インストールのタイプ」設定でフルインストールを選択している場合のみインストール可能です。

[注 9]:「地域と言語」設定で日本語を選択している場合は、アプリケーションが日本語で インストールされます。その他の場合は英語でインストールされます。

[注 10]:「地域と言語」設定で日本語を選択している場合のみインストール可能です。

[注 11]: Windows の"cmd /c"コマンドにより、指定したスクリプトを実行します。

[注 12]: プロダクトキー、MAC アドレスはポリシーで設定できません。プロファイルを作成する時に設定してください。

[注 13]: Windows Server 2008 R2 SP1 を UEFI モードでインストールする場合、BIOS の CSM Configuration を以下のとおり設定してください。

В	BIOS 設定 CSM Configuration				
	Launch CSM	Enabled			
	Boot option filter	UEFI only			
	Launch PXE OpROM Policy	UEFI only			
	Launch Storage OpROM policy	UEFI only			
	Other PCI device ROM priority	UEFI only			

[注 14]: Windows Server 2019 をインストールした後に OS にログインすると、以下のポ ップアップが表示されます。インストールは正常に終了しているため、「このプログラムは 正しくインストールされました」を選択してください。

メッセージ:このプログラムは正しくインストールされなかった可能性があります

OS個別情報タブ

項	目	名	説明	設定値
イ	ン	ストールメディアタイプ	インストールに使用するメ	常に [OS] タブで指定した
			ディアの種類を選択しま	インストールメディアと
			す。	なる。
コ	· '	ザー名	ユーザーの名前を入力しま	ユーザー名の文字列を入
			す。	力する。
組	織		ユーザーが属する組織を入	組織の文字列を入力す
			力します。	る。
Л	ン	ピューター名[注 5]	ネットワーク上で識別する	コンピューター名文字列
			ためのコンピューター名を	を入力する。
			入力します。	
A	dmi	inistrator パスワード	パスワードを入力します。	パスワード文字列を入力
				する。
ワ	·	クグループ/ドメイン		
	ワ	ークグループ/ドメイン	ワークグループまたはドメ	ワークグループ=ワーク
			インのどちらに参加するか	グループに参加する
			を選択します。	ドメイン=ドメインに参
				加する
				[注 1]
	ワ	ークグループ/ドメイン	ワークグループまたはドメ	文字列を入力する。
	名		インの名前を指定します。	[注 2]
		ドメインユーザー名	ドメインの場合、ドメイン	文字列を入力する。
			ユーザー名を入力します。	
		ドメインパスワード	ドメインの場合、パスワー	文字列を入力する。[注 3]
			ドを入力します。	
ネ	ッ	トワーク		
	D	HCP	管理 LAN の IP アドレスに	(チェックあり)=
			関して固定 IP アドレスを指	DHCP を利用する
			定するか、DHCP を使用す	(チェックなし) =固定
			るかを選択します。	IP を指定する
				[注 4]
		IP アドレス[注 5]	DHCP を利用しない場合、	IP アドレスを IPv4 形式で

項	目	名	説明	設定値
			固定 IP アドレスを指定しま	入力する。
			す。	
		サブネットマスク	DHCP を利用しない場合、	サブネットマスクを IPv4
			サブネットマスクを指定し	形式で入力する。
			ます。	
		デフォルトゲートウェ	DHCP を利用しない場合、	ゲートウェイの IP アドレ
		イ	ゲートウェイを指定しま	スを IPv4 形式で入力す
			す。	る。
		DNS サーバー1	DHCP を利用しない場合、	DNS サーバーの IP アド
			DNS サーバー1 の IP アド	レスを IPv4 形式で入力す
			レスを指定します。	る。
		DNS サーバー2	DHCP を利用しない場合、	DNS サーバーの IP アド
			DNS サーバー1 を設定後、	レスを IPv4 形式で入力す
			DNS サーバー2 の IP アド	る。
			レスを指定します。	
		DNS ドメイン名	DHCP を利用しない場合、	ドメイン名を入力する。
			任意のドメイン名を指定し	
			ます。	

[注1]:ドメインサーバーに接続できない場合、ワークグループに設定されます。

[注 2]: ワークグループ名は、15 文字以下で設定してください。全角は 2 文字、半角は 1 文字としてカウントします。

[注 3]:ドメインユーザー名・ドメインパスワードを誤って指定した場合、プロファイル適用は正常に終了しますが、ドメイン参加に失敗します。この場合、ドメイン参加を再度実行してください。

[注 4]:ポリシーで「DHCP」を(チェックあり)または未設定から(チェックなし)に変 更する場合、ポリシーの参照リンクを外した後に、関連付くプロファイルの IP アドレスを 設定してください。

[注 5]: コンピューター名、IP アドレスはポリシーで設定できません。プロファイルを作成する時に設定してください。

3.2. VMware ESXi 用プロファイル

対象OSは以下のとおりです。

• VMware ESXi 5.5 update3

- VMware ESXi 6.0 update1, update2, update3
- VMware ESXi 6.5 update1
- VMware ESXi 6.5 update2
- VMware ESXi 6.5 update3 (ISM 2.5.0.010 以降)
- VMware ESXi 6.7
- VMware ESXi 6.7 update1
- VMware ESXi 6.7 update2, update3 (ISM 2.5.0.010 以降)
- VMware ESXi 7.0(ISM 2.5.0.030 以降)

OSタブ

項目名		説明	設定値
イ	ンストール指定		
	インストールメディア	インストールに使用するメデ	プルダウンから選択す
		ィアの種類を選択します。	る。
	ServerView Suite DVD	インストールに使用する	最新版数でインストール
	(最新版数でインストー	ServerView Suite DVD の版	=リポジトリに登録され
	ル/版数を指定する)	数を指定します。	ている中で、最も新しい
			バージョンの
			ServerView Suite を使用
			する
			版数を指定する=指定し
			た版数の ServerView
			Suite を使用する
イ	ンストール情報(ISM 2.5.0.	010 以降)	
	インストール方法	インストール方法を選択しま	プルダウンから選択す
		す。	る。
		注意	
		● eLCMを選択する場合、 対象サーバーにel CMラ	
		イセンスの登録、SDカ	
		ードの搭載、elMのダウ	
		ンロードが必要です。 DDIMEOUEST2000	
		• PRIMEQUEST2000- Partition、	
		PRIMEQUEST3000E-	
		Partitionの場合、eLCM	
<u>^*</u>		ね迭代でさません。 	

項	項目名		説明	設定値
	ネ	ットワークポート指定	管理 LAN に使用するネット	(チェックあり)=管理
			ワークのポートを指定しま	LAN のネットワークポ
			す。	ートを指定する
		指定方法	管理 LAN のネットワークポ	プルダウンから選択す
			ートの指定方法を選択しま	る。
			す。[注 1] [注 2]	
		ネットワークカード	指定方法で、「ポート番号」	画面から選択する。
			を指定した場合に設定しま	PCI カードを選択した場
			す。	合には、PCI スロット番
			使用するネットワークカード	号を入力する。
			の種類を選択します。	
		ポート番号	指定方法で、「ポート番号」	使用するポート番号を入
			を指定した場合に入力しま	力する。
			す。	
		MAC アドレス[注 7]	指定方法で、「MAC アドレ	使用するネットワークの
			 ス」を指定した場合に入力し	MAC アドレスを入力す
			ます。	る。
ブ	·	トモード指定		
	ブ	ートモード	ブートモードを指定します。	(チェックあり)=ブー
				ト種別を指定する
		ブート種別	サーバーのブートモード	使用するブートの種別を画
			を変更した場合、または	面から選択する。
			明示的に指定する場合に	
			選択します。	
R	AIC	しとディスクの構成		
	\mathcal{T}	レイコントローラーを	サーバー内蔵のアレイコント	(選択時) = アレイコン
	使	用する	ローラーを OS インストール	トローラーを使用する
			先として使用する場合に選択	[注 3] [注 4]
			します。	
		既存アレイ構成を使用	すでにアレイコントローラー	(選択時) =既存のアレ
		する	上に作成済みのボリュームを	イ構成を使用する
		(RAID を使用しない	使用します。	
		場合も選択します)		
		アレイを新規に構築す	新しくアレイを構築し、その	(選択時)=アレイを新

項目名	説明	設定値
る	中にボリュームを作成して使	規に構築する
	用します。	加えて、アレイコントロ
		ーラーの種類、RAID レ
		ベル、RAID に組み込む
		ディスクの台数をプルダ
		ウンから選択する。
アレイコントローラーを	アレイコントローラー以外の	(選択時) =アレイコン
使用しない	ドライブを OS インストール	トローラー以外を使用す
	先として使用する場合に選択	る
	します。	加えて、使用するドライ
		ブの種類を画面から選択
		する。[注 5]
基本設定		
キーボード	キーボードの言語や種類を指	プルダウンから選択す
	定します。	る。
ネットワーク		
セットアップ	VM 標準ネットワークでセッ	(チェックあり)=標準
	トアップするかどうかを指定	ネットワークを作成する
	します。	
使用する VLAN ID	VLAN ID を入力します。	VLAN ID を入力する。
	VLAN を使用しない場合は	
	「0」を入力します。	
仮想化管理ソフトへの登録		
仮想化管理ソフトへの登	ESXi のインストールが完了	(チェックあり)= 登
録	したあと、続けて vCenter へ	録する
	自動的に登録するかどうかを	(チェックなし)= 登
	指定します。	録しない
	自動登録を行う場合、[OS 個	
	別情報]タブで設定する IP ア	
	ドレスは固定 IP アドレスを	
	設定してください。また、	
	[OS]タブでは VLAN ID に	
	「0」を指定してください。	
	[OS 個別情報]タブで、コン	
	ピューター名と DNS ドメイ	

項	〔目:	名	説明	設定値
			ン名を指定した場合、 FQDN	
			を使って仮想化管理ソフトウ	
			ェアへ登録します。	
			FQDN を使って仮想化管理ソ	
			フトウェアへ登録する場合、	
			すべて小文字で登録されま	
			す。	
		登録先仮想化管理ソフ	登録先の vCenter を指定しま	事前に[設定]-[全般]-左側
		卜名	す。	ツリー部で[仮想化管理
				ソフトウェア]を選択
				し、画面に登録した登録
				先から選択する。
		ホスト登録先のフォル	登録先のフォルダー名または	登録先のフォルダー名ま
		ダー名またはクラスタ	クラスタ名を指定します。	たはクラスタ名を指定す
		名		る。
イ	ン	ストール後のスクリプト実	 〔行	
	イ	ンストール後のスクリ	インストール後にスクリプト	(チェックあり)=イン
	フ	。ト実行	を実行するかどうかを指定し	ストール後にスクリプト
			ます。	を実行する
		スクリプト格納ディレ	インストール後に実行するス	インストール後に実行す
		クトリ	クリプトが格納されているデ	るスクリプトが格納され
			ィレクトリを指定します。	ているディレクトリを指
				定する。
		実行するスクリプト	インストール後に実行するス	インストール後に実行す
			クリプトを指定します。[注	るスクリプトを指定す
			6]	る。

[注 1]: CNA カードの Universal Multi-Channel(UMC)機能が有効になっている場合は、ポ ート番号ではなく、MAC アドレスを設定してください。

[注 2]: PRIMEQUEST 2000・PRIMEQUEST 3000E シリーズでは、ポート番号による指定 ができません。ネットワークポート指定を行う場合、MAC アドレスを指定してください。 [注 3]: アレイコントローラーを使用する場合、BIOS の「Onboard Device Configuration」 設定と矛盾がないように設定してください。

[注 4]: VMware ESXi では、「オンボード SATA アレイコントローラー」は使用できません。

[注 5]: PRIMEQUEST 2000・PRIMEQUEST 3000E シリーズでは、iSCSI に対応していま せん。対応状況は、サーバーと ServerView Suite DVD のマニュアルを参照してくださ い。

[注 6]:ファイル中にプレーンテキスト形式でスクリプトを記述してください。自動インストール(kickStart)中の%post 処理として実行されます。%firstboot --interpreter=busyboxの記述を行うと、%firstboot --interpreter=busybox 処理として実行されます。

[注 7]: MAC アドレスはポリシーで設定できません。プロファイルを作成する時に設定してください。

項目名		名	説明	設定値
ラ	イ	センス合意	VMware 社のライセンス	(チェックあり)=ライセ
			に合意するか選択しま	ンスに合意する
			す。	(チェックなし)=ライセ
			必ずチェックを付け、合	ンスに合意しない
			意したことを示してくだ	
			さい。	
イ	ン	ストールメディアタイプ	インストールに使用する	常に OS タブで指定したイ
			メディアの種類を選択し	ンストールメディアとな
			ます。	る。
Root パスワード		パスワード	パスワードを入力しま	パスワード文字列を入力す
			す。	る。
ネ	ッ	トワーク		
	D	HCP	管理 LAN の IP アドレス	(チェックあり)=DHCP
			に関して固定 IP アドレス	を利用する
			を指定するか、DHCP を	(チェックなし)=固定 IP
			使用するかを選択しま	を指定する
			す。	[注 2]
		IP アドレス[注 4]	DHCP を利用しない場	IP アドレスを IPv4 形式で
			合、固定 IP アドレスを指	入力する。
			定します。	
		サブネットマスク	DHCP を利用しない場	サブネットマスクを IPv4
			合、サブネットマスクを	形式で入力する。

OS個別情報タブ

項	目	名	説明	設定値
			指定します。	
		デフォルトゲートウェ	DHCP を利用しない場	ゲートウェイの IP アドレス
		1	合、ゲートウェイを指定	を IPv4 形式で入力する。
			します。	
		DNS サーバー[注 1]	DHCP を利用しない場	DNS サーバーの IP アドレ
			合、DNS サーバーの IP	スを IPv4 形式で入力す
			アドレスを指定します。	る。
		DNS ドメイン名	DHCP を利用しない場	ドメイン名を入力する。
			合、任意のドメイン名を	
			指定します。	
		コンピューター名を	DNS から取得したコンピ	(チェックあり)= DNS か
		DNS サーバーから取得	ューター名を利用するか	ら取得する
			どうかを指定します。	(チェックなし)=任意の
			DHCP を利用する場合、	コンピューター名を指定す
			コンピューター名を DNS	3
			サーバーから取得しま	[注 3]
			す。	
			DHCP を利用しない場	
			合、コンピューター名を	
			任意に指定します。	
		コンピューター名	DNS からコンピューター	ホスト名を入力する。
		[注 4]	名(ホスト名)を取得し	
			ない場合に任意のコンピ	
			ューター名(ホスト名)	
			を指定します。	

[注 1]: DNS サーバーを複数設定したい場合は、インストール後に実行するスクリプト で設定してください。

「esxcli network ip dns server add --server=<DNS サーバーの IP アドレス>」を記述する ことで設定できます。

スクリプト記述例:

#!/bin/sh	
%firstbootinterpreter=busybox	
esxcli network ip dns server addserver= <dnsサーバーのipアドレス></dnsサーバーのipアドレス>	

[注 2]:ポリシーで「DHCP」を(チェックあり)または未設定から(チェックなし)に

変更する場合、ポリシーの参照リンクを外した後に、関連付くプロファイルの IP アドレス を設定してください。

[注 3]: ポリシーで「コンピューター名を DNS サーバーから取得」を(チェックあり) または未設定から(チェックなし)に変更する場合、ポリシーの参照リンクを外した後 に、関連付くプロファイルのコンピューター名を設定してください。

[注 4]: IP アドレス、コンピューター名はポリシーで設定できません。プロファイルを作成する時に設定してください。

3.3. Red Hat Enterprise Linux 用プロファイル

対象OSは以下のとおりです。

- Red Hat Enterprise Linux 6.6 (for x86)
- Red Hat Enterprise Linux 6.6 (for Intel64)
- Red Hat Enterprise Linux 6.7 (for x86)
- Red Hat Enterprise Linux 6.7 (for Intel64)
- Red Hat Enterprise Linux 6.8 (for x86)
- Red Hat Enterprise Linux 6.8 (for Intel64)
- Red Hat Enterprise Linux 6.9 (for x86)
- Red Hat Enterprise Linux 6.9 (for Intel64)
- Red Hat Enterprise Linux 6.10 (for x86)
- Red Hat Enterprise Linux 6.10 (for Intel64)
- Red Hat Enterprise Linux 7.1 (for Intel64)
- Red Hat Enterprise Linux 7.2 (for Intel64)
- Red Hat Enterprise Linux 7.3 (for Intel64)
- Red Hat Enterprise Linux 7.4 (for Intel64)
- Red Hat Enterprise Linux 7.5 (for Intel64)
- Red Hat Enterprise Linux 7.6 (for Intel64)
- Red Hat Enterprise Linux 7.7 (for Intel64) (ISM 2.5.0.010 以降)
- Red Hat Enterprise Linux 7.8 (for Intel64) (ISM 2.5.0.030 以降)
- Red Hat Enterprise Linux 8.0 (for Intel64)
- Red Hat Enterprise Linux 8.1 (for Intel64) (ISM 2.5.0.030 以降)

OSタブ

IJ	頁目名	説明	設定値
	ンストール指定		
	インストールメディア	インストールに使用する メディアの種類を選択し ナナ	プルダウンから選択する。
	ServerView Suite DVD	ょ _{り。} インストールに使用する	 最新版数でインストール=

邛	〔目	名	説明	設定値
	(最新版数でインストール	ServerView Suite DVD Ø	リポジトリに登録されてい
	/覑	反数を指定する)	版数を指定します。	る中で、最も新しいバージ
				ョンの ServerView Suite を
				使用する
				版数を指定する=指定した
				版数の ServerView Suite を
				使用する
イ	ン	ストール情報(ISM 2.5.0.	010 以降)	
	イ	ンストール方法	インストール方法を選択	プルダウンから選択する。
			します。	
			注意	
			● eLCMを選択する場	
			合、対象サーバーに eLCMライセンスの登	
			録、SDカードの搭	
			載、elMのダウンロー	
			ドか必要です。 DPIMEOUEST2000	
			Partition	
			PRIMEQUEST3000E	
			-Partitionの場合、	
			ellomは速択でさまセ ん	
僧	玾	LAN ネットワークポート		
	ネ	ットワークポート指定	管理 IAN に使用すろネッ	(チェックあり) =管理
	'		トワークのポートを指定	IAN のネットワークポート
			します	を指定する
		指完专注	じょう。 管理ΙΔN のネットワーク	プルダウンから選択する
			ポートの指定方法を選択	
			します [注 1] [注 2]	
	╞	ネットワークカード		画面から選択する
			日本お伝した場合に認	PCIカードを選択した場合
			(1) ご用人 した物日に取	にけ PCI スロット釆号を
			/~~~ / 。 使用すろネットワークカ	入力する。
			ードの種類を選択しま	
			「シー理族で歴代しよ	
		ポート釆早	 	は田才スポート釆旦な1カ
		いてい留石	1日に刀伝し、「小一下笛	

項目名	説明	設定値
	号」を指定した場合に入	する。
	力します。	
MAC アドレス[注 9]	指定方法で、「MAC アド	使用するネットワークの
	レス」を指定した場合に	MAC アドレスを入力す
	入力します。	る。
ブートモード指定	ブートモードを指定しま	(チェックあり)=ブート
	す。	種別を指定する
ブート種別	サーバーのブートモード	使用するブートの種別を画
	を変更した場合、または	面から選択する。
	明示的に指定する場合に	
	選択します。	
基本設定		
地域と言語	言語を指定します。	プルダウンから選択する。
キーボード	キーボード種類を指定し	プルダウンから選択する。
	ます。	
タイムゾーン	タイムゾーンを指定しま	プルダウンから選択する。
	す。	
システムクロックで	システムクロックとして	(チェックあり)=UTC を
UTC を使用	使用する時刻の種類を指	使用
	定します。	(チェックなし)=ローカ
		ルタイムを使用
RAID とディスクの構成		
アレイコントローラーを使	サーバー内蔵のアレイコ	(選択時)=アレイコント
用する	ントローラーを OS イン	ローラーを使用する
	ストール先として使用す	
	る場合に選択します。	
既存アレイ構成を使用	すでにアレイコントロー	(選択時)=既存のアレイ
する	ラー上に作成済みのボリ	構成を使用する
(RAID を使用しない場	ュームを使用します。	
合も選択します)		
アレイを新規に構築す	新しくアレイを構築し、	(選択時)=アレイを新規
3	その中にボリュームを作	に構築する
	成して使用します。	加えて、アレイコントロー
		ラーの種類、RAID レベ

項目名	説明	設定値
		ル、RAID に組み込むディ
		スクの台数を画面から選択
		する。
アレイコントローラーを使	アレイコントローラー以	(選択時)=アレイコント
用しない	外のドライブを OS イン	ローラー以外を使用する
	ストール先として使用す	加えて、使用するドライブ
	る場合に選択します。	の種類を画面から選択す
		る。[注 3]
パーティション	下記の項目を「プロファ	
	イル」画面に表示された	
	/boot、/var などの各マウ	
	ントポイントに対して指	
	定します。	
(各マウントポイント左の	マウントポイントに対し	(チェックあり)=パーテ
チェックボックス)	て独立したパーティショ	ィションを作成する
	ンを作成するかどうかを	(チェックなし) =パーテ
	指定します。	ィションを作成しない
ファイルシステムタイプ	ファイルシステムの種類	プルダウンから選択する。
	を指定します。	例:ext2, ext3, ext4
サイズ	パーティションの容量を	数値を 10 進数で入力す
	指定します。	る。
最大許容量まで使用	余ったディスク容量を指	(チェックあり)=指定の
	定したパーティションに	パーティションに余った容
	割り当てるかどうかを指	量を割り当てて容量を拡大
	定します。	(チェックなし)=指定し
	Linux インストール後に空	た容量でパーティションを
	き領域に別途パーティシ	作成
	ョンを作成する場合は、	
	本指定は行いません。	
パッケージ選択		
パッケージ選択の初期値	インストールするパッケ	最小=必要最小限のパッケ
	ージとして画面に表示さ	ージ
	れるパッケージグループ	全て=すべてのパッケージ
	と個別パッケージの初期	[注 4]
	選択を変更します。	デフォルト=推奨パッケー

項目名	説明	設定値
		ジ[注 4]
パッケージグループ	インストールするパッケ	(チェックあり)=インス
	ージグループを指定しま	トールする
	す。	(チェックなし) =インス
		トールしない
個別パッケージ	インストールするパッケ	パッケージ名を文字列で入
	ージ名を個別に指定しま	力する。
	す。	1行あたり1パッケージで
		複数行の記述が可能。
基本情報		
X Window System	システムのブート時に X	(チェックあり)= X
(ISM 2.5.0.030 以降)	Window System を起動す	Window System を起動する
	るかどうかを指定しま	(チェックなし) =X
	す。	Window System を起動しな
	注意	V V
	Serverview Suite DVD	
	V13.19.12 以前を使用う	
	る場合、平坦日の指止に かかわさず ツギン	
	かかわらり、 とり X	
	WINDOW System を起動し ナナ	
ブートローガーナプション	より。	
ブートローダースノジョン	ゴートローガなインフト	(チーックなり) ーブート
	ノートロークをインスト	(リェックのリ) = ノート
	一ルりるがとりがを設た	1-7をインストールする
	しまり。	半項日は吊に7 エック 仏感 しわて
ゴートローダのインフト	ゴートローダのインフト	$MDD - 77 p \vec{\tau} - b h \tau - b$
ノール掲載	ノートロークのインスト	ドロインフトールナス
	一ル元を拍圧しまり。	トにインストールりる 大百日は倍に「MPD」に乳
		半頃日は市に「WIDK」に設
オーウルパランク		上される。
	ルーイルハフメーターを	レーイルハフメーターとし ア地学ナスサウロナスナナ
	1日止しより。	し相止 9 つ入子列を八月 9 マ
		【

IJ	〔目名	説明	設定値
S	ecurity-Enhanced Linux		
	SE Linux	SE Linux の使用有無を指	プルダウンで以下から選択
		定します。	する。
			Enforcing, Disabled,
			Permissive
	る証		
	シャドウパスワードの使	シャドウパスワードを使	(チェックあり)=使用す
	用	用するかどうかを指定し	3
		ます。	(チェックなし)=使用し
			ない[注 5]
	MD5 の使用	パスワード暗号化に MD5	(チェックあり)=使用す
		を使用するかどうかを指	3
		定します。	(チェックなし)=使用し
			ない
	nscd の有効	Name Switch Cache を使	(チェックあり)=使用す
		用するかどうかを指定し	3
		ます。	(チェックなし)=使用し
			ない
アプリケーション		OS インストール後に自動	
		的にインストールするア	
		プリケーションを指定し	
		ます。	
	アプリケーション選択	インストールするアプリ	(チェックあり)=アプリ
	(各種アプリケーション)	ケーションを指定しま	ケーションをインストール
		す。	する
		アプリケーションの種類	
		はディストリビューショ	
		ンによって異なります。	
		[注 6]	
インストール後のスクリプト実行			
	インストール後のスクリプ	インストール後にスクリ	(チェックあり)=インス
	ト実行	プトを実行するかどうか	トール後にスクリプトを実
		を指定します。	行する
	OS に転送するディレク	インストール後、OS に転	インストール後、OS に転
	トリ	送するディレクトリを指	送するディレクトリを指定

IJ	頁目	名	説明	設定値
			定します。	する。
		実行するスクリプト	実行するスクリプトを指	実行するスクリプトを指定
			定します。[注 7] [注 8]	する。

[注 1]: CNA カードの Universal Multi-Channel(UMC)機能が有効になっている場合は、ポ ート番号ではなく、MAC アドレスを設定してください。

[注 2]: PRIMEQUEST 2000・PRIMEQUEST 3000E シリーズでは、ポート番号による指定 ができません。ネットワークポート指定を行う場合、MAC アドレスを指定してください。 [注 3]: PRIMEQUEST 2000・PRIMEQUEST 3000E シリーズでは、iSCSI に対応していま せん。対応状況は、サーバーと ServerView Suite DVD のマニュアルを参照してくださ い。

[注 4]: ServerView Suite DVD V11.16.04 以降を使用した場合、インストールされないパッ ケージグループがあります。その場合、手動でインストールしてください。

[注 5]:「シャドウパスワード」は、プロファイル設定に関わらず常に有効になります。
 [注 6]:下表のアプリケーションは ServerView Suite DVD V11.16.04、V12.16.10 を使用した場合です。将来的に ServerView Suite DVD の改版によって変更されることがあります。

アプリケーション	RHEL 6.x	RHEL 6.x	RHEL 7.x	RHEL 8.x
	(x86)	(Intel64)		
ServerView Agentless Service	×	0	0	0
ServerView SNMP Agents	0	0	0	0
ServerView CIM Providers	×	0	0	0
ServerView Update Agent (online flash)	0	0	0	0
ServerView Operations Manager	0	0	0	0
(注:インストール時には、SELinux				
を Disabled に設定)				
ServerView RAID Manager	0	0	0	0
AIS Connect	0	0	×	×
(注:ServerView Suite DVD				
V12.16.10以降では設定不可)				
Java Runtime Environment	0	0	0	0
Dynamic Reconfiguration utility	×	0	0	×
PRIMEQUEST 2000 · PRIMEQUEST				

凡例:○=ISM で指定可、×=ISM で指定不可

アプリケーション	RHEL 6.x	RHEL 6.x	RHEL 7.x	RHEL 8.x
	(x86)	(Intel64)		
3000E 用				
PRIMEQUEST REMCS Option	×	0	0	×
PRIMEQUEST 2000 · PRIMEQUEST				
3000E 用				
HBA blockage function	×	0	0	×
PRIMEQUEST 2000 · PRIMEQUEST				
3000E 用				
SIRMS エージェント	0	0	0	×
PRIMEQUEST 2000 · PRIMEQUEST				
3000E 用				
ServerView Mission Critical Option	×	0	0	×
PRIMEQUEST 2000 · PRIMEQUEST				
3000E 用				

[注7]:スクリプトから、ほかのスクリプトを実行する場合、実行権限を付与し、呼び出してください。

[注8]: sh コマンドにより、指定したスクリプトを実行します。

[注 9]: MAC アドレスはポリシーで設定できません。プロファイルを作成する時に設定してください。

OS個別情報タブ

項	目	名	説明	設定値
イ	ン	ストールメディアタイプ	インストールに使用する	常に OS タブで指定したイ
			メディアの種類を選択し	ンストールメディアとな
			ます。	る。
R	oot	パスワード	パスワードを入力しま	パスワード文字列を入力す
			す。	る。
ネ	ミツ	トワーク		
	П	ンピューター名を DNS	DNS から取得したコンピ	(チェックあり)= DNS か
	サ	ーバーから取得	ューター名を利用するか	ら取得する
			どうかを指定します。	(チェックなし)=任意の
				コンピューター名を指定す
				る
				[注 1]
		コンピューター名[注3]	DNS からコンピューター	ホスト名を入力する。
			名(ホスト名)を取得し	
			ない場合に、任意のホス	
			ト名を指定します。	
	D	HCP	管理 LAN の IP アドレス	(チェックあり)=DHCP
			に対して固定 IP アドレス	を利用する
			を指定するか、DHCP を	(チェックなし)=固定 IP
			使用するかを選択しま	を指定する
			す。	[注 2]
		IP アドレス[注 3]	DHCP を利用しない場	IP アドレスを IPv4 形式で
			合、固定 IP アドレスを指	入力する。
			定します。	
		サブネットマスク	DHCP を利用しない場	サブネットマスクを IPv4
			合、サブネットマスクを	形式で入力する。
			指定します。	
		デフォルトゲートウェ	DHCP を利用しない場	ゲートウェイの IP アドレス
		イ	合、デフォルトゲートウ	を IPv4 形式で入力する。
			ェイを指定します。	
		DNS サーバー	DHCP を利用しない場	DNS サーバーの IP アドレ
			合、DNS サーバーの IP	スを IPv4 形式で入力す

項目名	説明	設定値
	アドレスを指定します。	る。

[注 1]:ポリシーで「コンピューター名を DNS サーバーから取得」を(チェックあり) または未設定から(チェックなし)に変更する場合、ポリシーの参照リンクを外した後 に、関連付くプロファイルのコンピューター名を設定してください。

[注 2]:ポリシーで「DHCP」を(チェックあり)または未設定から(チェックなし)に 変更する場合、ポリシーの参照リンクを外した後に、関連付くプロファイルの IP アドレス を設定してください。

[注 3]: コンピューター名、IP アドレスはポリシーで設定できません。プロファイルを 作成する時に設定してください。

3.4. SUSE Linux Enterprise Server 用プロファイル

対象OSは以下のとおりです。

- SUSE Linux Enterprise Server 11 SP4 (for x86)
- SUSE Linux Enterprise Server 11 SP4 (for AMD64 & Intel64)
- SUSE Linux Enterprise Server 12 (for AMD64 & Intel64)
- SUSE Linux Enterprise Server 12 SP1 (for AMD64 & Intel64)
- SUSE Linux Enterprise Server 12 SP2 (for AMD64 & Intel64)
- SUSE Linux Enterprise Server 12 SP3 (for AMD64 & Intel64)
- SUSE Linux Enterprise Server 12 SP4 (for AMD64 & Intel64)
- SUSE Linux Enterprise Server 12 SP5 (for AMD64 & Intel64) (ISM 2.5.0.020 以降)
- SUSE Linux Enterprise Server 15 (for AMD64 & Intel64)
- SUSE Linux Enterprise Server 15 SP1 (for AMD64 & Intel64)

OSタ	ブ
•	-

IJ	頁目名	説明	設定値
$\overline{\mathbf{n}}$	インストール指定		
	インストールメディア	インストールに使用する	プルダウンから選択する。
		メディアの種類を選択し	
		ます。	
	ServerView Suite DVD	インストールに使用する	最新版数でインストール=
	(最新版数でインストール	ServerView Suite DVD Ø	リポジトリに登録されてい
	/版数を指定する)	版数を指定します。	る中で、最も新しいバージ
			ョンの ServerView Suite を
			使用する
			版数を指定する=指定した

項	目名	説明	設定値
			版数の ServerView Suite を
			使用する
1	ンストール情報(ISM 2.5.0.0	010 以降)	
	インストール方法	インストール方法を選択	プルダウンから選択する。
		します。	
		注意	
		● ol CMを選択する堤	
		 ・ とこのWを送代する場 ・ 合、対象サーバーに 	
		eLCMライセンスの登	
		録、SDカードの搭 載 elMのダウンロー	
		ドが必要です。	
		• PRIMEQUEST2000-	
		Partition、 PRIMEOUEST3000E	
		-Partitionの場合、	
		eLCMは選択できませ	
<u>k-</u> 4			
伯	·埋 LAN ネットリークホート		
	ネットワークボート指定	管理LAN に使用するネッ	(チェックあり)=管埋
		トワークのボートを指定	LAN のネットワークボート
			を指定する
	指定方法	管理 LAN のネットワーク	ブルダウンから選択する。
		ホートの指定方法を選択	
		します。[注 1] [注 2]	
	ネットワークカード	指定方法で、「ボート番	画面から選択する。
		号」を指定した場合に設	PCIカードを選択した場合
		定します。	には、PCI スロット番号を
		使用するネットワークカ	人力する。
		ードの種類を選択しま	
		Jo	
	ホート番号 	指正万法で、「ホート番	使用するホート番号を人力
		亏」を指定した場合に人	する。
		ノします。	
	MACアドレス[注 12]	指正万法で、「MAC アド	使用するネットリークの
		レス」を指定した場合に	MAC アドレスを入力す
		人力します。	る。

項目名	説明	設定値
ブートモード指定	ブートモードを指定しま	(チェックあり)=ブート
	す。	種別を指定する
ブート種別	サーバーのブートモード	使用するブートの種別を画
	を変更した場合、または	面から選択する。
	明示的に指定する場合に	
	選択します。	
基本設定		
地域と言語	言語を指定します。	プルダウンから選択する。
キーボード	キーボード種類を指定し	プルダウンから選択する。
	ます。	
タイムゾーン	タイムゾーンを指定しま	プルダウンから選択する。
	す。	
システムクロックで	システムクロックとして	(チェックあり)=UTC を
UTC を使用	使用する時刻の種類を指	使用
	定します。	(チェックなし) =ローカ
		ルタイムを使用
RAID とディスクの構成		
アレイコントローラーを使	サーバー内蔵のアレイコ	(選択時)=アレイコント
用する	ントローラーを OS イン	ローラーを使用する[注 3]
	ストール先として使用す	
	る場合に選択します。	
既存アレイ構成を使用	すでにアレイコントロー	(選択時) =既存のアレイ
する	ラー上に作成済みのボリ	構成を使用する
(RAID を使用しない場	ュームを使用します。	
合も選択します)		
アレイを新規に構築す	新しくアレイを構築し、	(選択時)=アレイを新規
3	その中にボリュームを作	に構築する
	成して使用します。	加えて、アレイコントロー
		ラーの種類、RAID レベ
		ル、RAID に組み込むディ
		スクの台数を画面から選択
		する。
アレイコントローラーを使	アレイコントローラー以	(選択時) =アレイコント
用しない	外のドライブを OS イン	ローラー以外を使用する

IJ	頁目名	説明	設定値
		ストール先として使用す	加えて、使用するドライブ
		る場合に選択します。	の種類を画面から選択す
			る。[注 4]
)	ペーティション	下記の項目を「プロファ	
		イル」画面に表示された	
		/boot、/var などの各マウ	
		ントポイントに対して指	
		定します。	
	(各マウントポイント左の	マウントポイントに対し	(チェックあり)=パーテ
	チェックボックス)	て独立したパーティショ	ィションを作成する
		ンを作成するかどうかを	(チェックなし)=パーテ
		指定します。	ィションを作成しない
	ファイルシステムタイプ	ファイルシステムの種類	プルダウンから選択する。
		を指定します。	例:ext2, ext3, ext4
			[注 5] [注 13]
	サイズ	パーティションの容量を	数値を 10 進数で入力す
		指定します。	る。
	最大許容量まで使用	余ったディスク容量を指	(チェックあり)=指定の
		定したパーティションに	パーティションに余った容
		割り当てるかどうかを指	量を割り当てて容量を拡大
		定します。	(チェックなし)=指定し
		Linux インストール後に空	た容量でパーティションを
		き領域に別途パーティシ	作成
		ョンを作成する場合は、	
		本指定は行いません。	
)	ペッケージ選択		
	パッケージ選択の初期値	インストールするパッケ	最小=必要最小限のパッケ
		ージとして画面に表示さ	ージ
		れるパッケージグループ	全て=すべてのパッケージ
		と個別パッケージの初期	デフォルト=推奨パッケー
		選択を変更します。	ジ
	パッケージグループ [注6]	インストールするパッケ	(チェックあり)=インス
	[注 11] [注 14]	ージグループを指定しま	トールする
		す。	(チェックなし)=インス
			トールしない
項目名	説明	設定値	
-------------------------	---	---	
個別パッケージ	インストールするパッケ	パッケージ名を文字列で入	
	ージ名を個別に指定しま	力する。	
	す。	1行あたり1パッケージで	
		複数行の記述が可能。	
ブートローダーオプション			
ブートローダをインスト	ブートローダをインスト	(チェックあり)=ブート	
ール	ールするかどうかを設定	ローダをインストールする	
	します。	本項目は常にチェック状態	
		となる。	
ブートローダのインスト	ブートローダのインスト	MBR=マスタブートレコー	
ール場所	ール先を指定します。	ドにインストールする	
		本項目は常に「MBR」に設	
		定される。	
カーネルパラメーター	カーネルパラメーターを	カーネルパラメーターとし	
	指定します。	て指定する文字列を入力す	
		る。	
		【省略可】	
Security-Enhanced Linux			
SE Linux	SE Linux の使用有無を指	本項は常に「Disabled」に	
	定します。	設定される。	
認証			
シャドウパスワードの使	シャドウパスワードを使	本項は常に「チェックあり	
用	用するかどうかを指定し	(使用する)」に設定され	
	ます。	る。	
MD5 の使用	パスワード暗号化に MD5	本項は常に「チェックなし	
	を使用するかどうかを指	(使用しない)」に設定さ	
	定します。	れる。	
nscd の有効	定します。 Name Switch Cache を使	れる。 本項は常に「チェックあり	
nscd の有効	定します。 Name Switch Cache を使 用するかどうかを指定し	れる。 本項は常に「チェックあり (使用する)」に設定され	
nscd の有効	定します。 Name Switch Cache を使 用するかどうかを指定し ます。	れる。 本項は常に「チェックあり (使用する)」に設定され る。	
nscd の有効 アプリケーション	定します。 Name Switch Cache を使 用するかどうかを指定し ます。 OS インストール後に自動	れる。 本項は常に「チェックあり (使用する)」に設定され る。	
nscd の有効 アプリケーション	定します。 Name Switch Cache を使 用するかどうかを指定し ます。 OS インストール後に自動 的にインストールするア	れる。 本項は常に「チェックあり (使用する)」に設定され る。	
nscd の有効 アプリケーション	定します。 Name Switch Cache を使 用するかどうかを指定し ます。 OS インストール後に自動 的にインストールするア プリケーションを指定し	れる。 本項は常に「チェックあり (使用する)」に設定され る。	
nscd の有効 アプリケーション	定します。 Name Switch Cache を使 用するかどうかを指定し ます。 OS インストール後に自動 的にインストールするア プリケーションを指定し ます。	れる。 本項は常に「チェックあり (使用する)」に設定され る。	

IJ	項目名		説明	設定値
	(各種アプリケーション)		ケーションを指定しま	ケーションをインストール
			す。	する
			アプリケーションの種類	
			はディストリビューショ	
			ンによって異なります。	
			[注 7]	
1	レン	イストール後のスクリプト実	尾行 [注 8]	
	インストール後のスクリプ		インストール後にスクリ	(チェックあり)=インス
	ł	、実行	プトを実行するかどうか	トール後にスクリプトを実
			を指定します。	行する
	OS に転送するディレク		インストール後、OS に転	インストール後、OS に転
	トリ		送するディレクトリを指	送するディレクトリを指定
			定します。	する。
		実行するスクリプト	実行するスクリプトを指	実行するスクリプトを指定
			定します。[注 9] [注 10]	する。

[注 1]: CNA カードの Universal Multi-Channel(UMC)機能が有効になっている場合は、ポート番号ではなく、MAC アドレスを設定してください。

[注 2]: PRIMEQUEST 2000・PRIMEQUEST 3000E シリーズでは、ポート番号による指定ができません。ネットワークポート指定を行う場合、MAC アドレスを指定してください。
[注 3]: アレイコントローラーを使用する場合、BIOS の「Onboard Device Configuration」
設定と矛盾がないように設定してください。

[注 4]: PRIMEQUEST 2000・PRIMEQUEST 3000E シリーズでは、iSCSI に対応していま せん。対応状況は、サーバーと ServerView Suite DVD のマニュアルを参照してくださ い。

[注 5]: SLES 11 SP4 では、ext4 は Read のみ対応しています。SLES 12 では、ext4 が Read/Write 両方可能ですが、SLES として正式サポートの対象ではありません。

[注 6]: SLES 12 では、パッケージグループに「X Windows System」が指定されていない 場合も、コンソールで起動しません。[Ctrl]+[Alt]+[F1]を押すと、コンソールからログイン できます。

[注 7]: 下表のアプリケーションは ServerView Suite DVD V11.16.04、V12.16.10、

V12.18.08 を使用した場合です。将来的に ServerView Suite DVD の改版によって変更され る場合があります。

SLES15 系①は ServerView Suite DVD V13.19.01 以前を使用した場合、SLES 15 系②は ServerView Suite DVD V13.19.04 以降を使用した場合です。

凡例	:	∘=ISM	で指定可、	x=ISM	で指定不可

アプリケーション	SLES 11 SP4 (x86)	SLES 11 SP4 (Intel64)	SLES 12 系	SLES 15 系①	SLES 15 系②
ServerView					
Agentless Service	×	0	0	X	X
ServerView		\bigcirc		~	\bigcirc
SNMP Agents	0	0	0	^	0
ServerView	×	×	×	×	\cap
CIM Providers	^	~	^	~	0
ServerView	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	×	\cap
Update Agent (online flash)				~	
ServerView	×	×	×	×	×
Operations Manager				~	
ServerView	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	0	\bigcirc
RAID Manager	<u> </u>		<u> </u>	<u> </u>	
AIS Connect					
(注:ServerView Suite					
DVD	×	×	×	×	×
V12.16.10 以降では設定不					
可)					
Java Runtime Environment	0	0	0	0	0
Dynamic Reconfiguration					
utility	×	×	0	×	×
PRIMEQUEST 2000 ·			0		
PRIMEQUEST 3000E 用					
PRIMEQUEST REMCS					
Option	×	×	×	×	×
PRIMEQUEST 2000 ·					
PRIMEQUEST 3000E 用					
HBA blockage function					
PRIMEQUEST 2000 ·	×	×	×	×	×
PRIMEQUEST 3000E 用					
SIRMS エージェント					
PRIMEQUEST 2000 ·	×	×	×	×	×
PRIMEQUEST 3000E 用					

アプリケーション	SLES 11 SP4 (x86)	SLES 11 SP4 (Intel64)	SLES 12 系	SLES 15 系①	SLES 15 系②
ServerView Mission Critical					
Option	×	~	~	~	X
PRIMEQUEST 2000 ·		~	~	~	~
PRIMEQUEST 3000E 用					

[注 8]: SLES 12 では、インストール後のスクリプト実行に対応していません。

[注 9]: スクリプトから、ほかのスクリプトを実行する場合、実行権限を付与し、呼び出してください。

[注 10]: sh コマンドにより、指定したスクリプトを実行します。

[注 11]: SLES をインストールしたサーバーを ISM で管理する場合、「GNOME Basic」と 「SAP Application Server Base」を指定してください。

[注 12]: MAC アドレスはポリシーで設定できません。プロファイルを作成する時に設定してください。

[注 13]: SLES 12 では、パーティション / 、/home、/var、/user、/opt、/tmp のファイル システムに vfat を指定できません。

SLES 15 では、パーティション /、/var、/tmp のファイルシステムに vfat を指定できません。

[注 14]: SLES 12 では、パッケージグループに「KVM Server」を指定すると、意図しない IP アドレスが設定されることがあります。その場合、手動で IP アドレスを設定してください。

OS個別情報タブ

項	目	名	説明	設定値
イ	ン	ストールメディアタイプ	インストールに使用する	常に OS タブで指定したイ
			メディアの種類を選択し	ンストールメディアとな
			ます。	る。
R	oot	パスワード	パスワードを入力しま	パスワード文字列を入力す
			す。	る。
ネ	ドツ	トワーク		
	П	ンピューター名を DNS	DNS から取得したコンピ	(チェックあり)= DNS か
	サ	ーバーから取得	ューター名を利用するか	ら取得する
			どうかを指定します。	(チェックなし)=任意の
				コンピューター名を指定す
				る
				[注 1]
コンピューター名[注3]		コンピューター名[注3]	DNS からコンピューター	ホスト名を入力する。
			名(ホスト名)を取得し	
			ない場合に、任意のホス	
			ト名を指定します。	
	DHCP		管理 LAN の IP アドレス	(チェックあり)=DHCP
			に対して固定 IP アドレス	を利用する
			を指定するか、DHCP を	(チェックなし)=固定 IP
			使用するかを選択しま	を指定する
			す。	[注 2] [注 4]
		IP アドレス[注 3]	DHCP を利用しない場	IP アドレスを IPv4 形式で
			合、固定 IP アドレスを指	入力する。
			定します。	
		サブネットマスク	DHCP を利用しない場	サブネットマスクを IPv4
			合、サブネットマスクを	形式で入力する。
			指定します。	
		デフォルトゲートウェ	DHCP を利用しない場	ゲートウェイの IP アドレス
		イ	合、デフォルトゲートウ	を IPv4 形式で入力する。
			ェイを指定します。	
		DNS サーバー	DHCP を利用しない場	DNS サーバーの IP アドレ
			合、DNS サーバーの IP	スを IPv4 形式で入力す

項目名	説明	設定値
	アドレスを指定します。	る。

[注 1]:ポリシーで「コンピューター名を DNS サーバーから取得」を(チェックあり) または未設定から(チェックなし)に変更する場合、ポリシーの参照リンクを外した後 に、関連付くプロファイルのコンピューター名を設定してください。

[注 2]:ポリシーで「DHCP」を(チェックあり)または未設定から(チェックなし)に 変更する場合、ポリシーの参照リンクを外した後に、関連付くプロファイルの IP アドレス を設定してください。

[注 3]: コンピューター名、IP アドレスはポリシーで設定できません。プロファイルを 作成する時に設定してください。

[注 4]: SLES 12 では、パッケージグループに「KVM Server」を指定すると、意図しない IP アドレスが設定されることがあります。その場合、手動で IP アドレスを設定してください。

4. PRIMERGY サーバー / PRIMEQUEST 3000E パーティション用プロファ イルの仮想 IO 設定項目

4.1. カード設定

	使用1	したい	いカー	ド数分設定1	ます。
--	-----	-----	-----	--------	-----

項目名	説明	設定値
オンボードカードスロッ	オンボード数を選択しま	プルダウンから選択する。
ト数	す。	
PCI カードスロット数	使用するカード数を選択	プルダウンから選択する。
	します。	
カードスロット		
オンボードスロット		
カードタイプ	使用する種別を選択しま	画面から選択する。
	す。	
ポート数	使用するポート数を選択	プルダウンから選択する。
	します。	
PCI カード		
カードタイプ	使用する種別を選択しま	画面から選択する。
	す。	
ポート数	使用するポート数を選択	プルダウンから選択する。
	します。	

注意

- 仮想IOの設定は、サーバーに搭載されているLAN、FC、CNA のカード/ボードすべて に仮想アドレスを割り当てて使用してください。一部のカード/ボードや一部のポート だけに仮想アドレスを割り当てるといった部分的な割当て運用はサポートしていませ ん。
- 仮想IOの設定は、プロファイル編集で設定から除外したカード/ボード(カード/ボード 数を0に設定したものを含む)は使用できない状態になります。基本的にOSから認識されなくなります(OSやドライバーによっては認識表示される場合があります)。
- 仮想IOの設定はiRMCに保存されるため、iRMCの電源がオンの場合に有効です。iRMCの 電力が喪失(すべての電源ケーブルの切断、またはデータセンターでの電力喪失)し たとき、iRMCは仮想IO設定を失います。AC電源が復帰し、iRMCが再びブートされた とき、仮想IO設定を再適用します。iRMCの電力が喪失した場合、iRMCの仮想IOの設定 もなくなります。再度仮想IOの設定を有効にするには、プロファイルを再適用してく ださい。

PRIMEQUEST3000E パーティションのPCIカードスロットは、スロット実装位置とスロット番号が異なります。仮想IOの設定では、実装位置ではなくスロット番号で指定してください。対応関係については、PRIMEQUEST3000の運用管理マニュアルの「D.2 PCI Express スロット実装位置とスロット番号の対応」を参照してください。
 <u>http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primequest/products/3000/catalog/manu al/3000/</u>

4.2. ポート設定

「4.1 カード設定」で設定したカード数分の設定が必要です。

以下のカードごとの設定では、カードタイプ別の設定値について説明します。

項	〔目名	説明	設定値
ボ	《一卜情報		
	仮想アドレスを使用する	仮想アドレスを使用する	(チェックあり)=仮想ア
		場合に選択します。	ドレスを使用する
	SR-IOV を使用する	SR-IOV を使用する場合に	(チェックあり)=SR-IOV
		選択します。	を使用する
	ブートメニュー非表示	ブートメニューを非表示	(チェックあり)=ブート
(F12)		にする場合に選択しま	メニューを非表示にする
		す。	
UEFI ブートモード		使用するブートモードを	画面から選択する。[注 2]
		選択します。[注 1]	
カードタイプが CNA の場合			
	機能タイプ	CNA の Function を選択し	プルダウンから選択する。
		ます。	
	Boot	ブート方法を選択しま	プルダウンから選択する。
		す。	
	SR-IOV	SR-IOV を有効にする場合	(チェックあり)=SR-IOV を
		に選択します。	有効にする
	RoCE	RoCE 設定を選択しま	プルダウンから選択する。
		す。[注3][注4][注5]	
カ	ードタイプが LAN の場合		
	機能タイプ	LAN の Function を選択し	常に LAN となる。
		ます。	
	Boot	ブート方法を選択しま	プルダウンから選択する。
		す。	
	SR-IOV	SR-IOV を有効にする場合	(チェックあり)=SR-IOV を

項	间名	説明	設定値
		に選択します。	有効にする
RoCE		RoCE 設定を選択しま	プルダウンから選択する。
		す。[注 4] [注 5]	
カードタイプが FC の場合			
	機能タイプ	FC の Function を選択し	常に FC となる。
Boot		ます。	
		ブート方法を設定しま	プルダウンから選択する。
		す。	
	SR-IOV	SR-IOV を有効にする場合	(チェックあり)=SR-IOV を
		に選択します。	有効にする
S	MUX 設定[注 6]	SMUX 設定を選択しま	画面から選択する。
		す。	

[注 1]: PRIMEQUEST 3000E パーティションの場合は、「UEFI のみ」を選択してください。

[注 2]:本設定の設定値は、BIOS の CSM Configuration の設定に反映します。具体的な設 定は以下を参照してください。

В	IOS 設定	仮想 IO[UEFI ブ	ートモード]		
С	SM Configuration	レガシー優先	レガシーのみ	UEFI 優先	UEFI のみ
	Boot option filter	UEFI and	Legacy only	UEFI and	UEFI only
		Legacy		Legacy	
		もしくは		もしくは	
		Legacy only		UEFI only	
		(「UEFI and		(「UEFI and	
		Legacy」の選		Legacy」の選	
		択肢がない場		択肢がない場	
		合)		合)	
	Launch PXE	Legacy only	Legacy only	UEFI only	UEFI only
	OpROM Policy				
	Launch Storage	Legacy only	Legacy only	UEFI only	UEFI only
	OpROM policy				
	Other PCI	Legacy only	Legacy only	UEFI only	UEFI only
	device ROM				
	priority				

[注 3]: [機能タイプ]が「LAN」の場合のみ設定できます。

[注 4]:本項目を設定する場合、「仮想アドレスを使用する」にチェックを入れてください。
[注 5]:本項目を設定する場合、「SR-IOV」のチェックを外してください。

[注 6]: サーバーが PRIMERGY BX の場合のみ設定できます。

注意

ローカルディスク(SATA、または SAS)へ OS インストールを行う場合、仮想 IO で Boot 設 定は利用できません。プロファイル適用前に手動でサーバーの PXE ブートが優先となる ようにサーバーのブート順を変更してください。

4.3. ブート設定

ブート優先順を変更する場合は、各項目の右側にある矢印ボタンを使用してください。 オンボードのポート数、および PCI カード数・ポート数は、「4.1 カード設定」および 「4.2 ポート設定」で設定した数分、設定してください。

以下では、オンボード・PCIカード問わず、機能タイプ別の設定値について説明します。

項目名			説明	設定値
機能タイプが LAN の場合				
	IPフ	ペロトコル	IP プロトコルについて選	画面から選択する。
			択します。	
機	能タ	イプが FCoE の場合		
	接続	速度	接続速度を選択します。	プルダウンから以下を選択
				する。
				自動、1 Gbit/s、2 Gbit/s、
				4 Gbit/s、
				8 Gbit/s、16 Gbit/s [注 1]
	接続	タイプ	接続形態を選択します。	画面から選択する。
	第 1	ターゲット		
	치	ポート名(WWPN)	SAN ブートで起動するス	WWPN を入力する。
			トレージの WWPN を入力	
			します。	
	L	UN	SAN ブートで起動するス	LUN を入力する。
			トレージの LUN を入力し	
			ます。	
	第2	ターゲット		

項目名		名	説明	設定値
		ポート名 (WWPN)	SAN ブートで起動するス	WWPN を入力する。
			トレージの WWPN を入力	
			します。	
		LUN	SAN ブートで起動するス	LUN を入力する。
			トレージの LUN を入力し	
			ます。	
機	能	タイプが iSCSI の場合		
	イ	ニシエータパラメーター		
		アドレス設定	イニシエータのアドレス	画面から選択する
			取得方法を選択します。	
		イニシエータ名	イニシエータの IQN を入	IQN を入力する。
			力します。	入力する文字列は、先頭お
				よび、末尾が英数字、それ
				以外は、英数字および記号
				(ピリオド"."、コロン":"およ
				びハイフン"-")で構成された
				223 文字以内とする。
		VLAN ID	HBA が要求を送信するた	VLAN ID を入力する。
			めに使用される VLAN ID	
			を入力します。	
		IPv4	アドレス設定で「固定」	IP アドレスを入力する。
			を選択した場合、イニシ	
			エータで使用する IP アド	
			レスを入力します。	
		サブネットマスク	アドレス設定で「固定」	サブネットマスクを入力す
			を選択した場合、サブネ	る。
			ットマスクを入力しま	
			す。	
		ゲートウェイアドレス	アドレス設定で「固定」	ゲートウェイのアドレスを
			を選択した場合、ゲート	入力する。
			ウェイのアドレスを入力	
			します。	
	タ	ーゲットパラメーター		
		IPアドレス	ターゲットのアドレス取	画面から選択する。
			得方法を選択します。	

項	目	名	説明	設定値
		ターゲット名	ターゲットの IQN を入力	IQN を入力する。
			します。	入力する文字列は、先頭お
				よび、末尾が英数字、それ
				以外は、英数字および記号
				(ピリオド"."、コロン":"およ
				びハイフン"-")で構成された
				223 文字以内とする。
		IPv4	IP アドレスで「固定」を	IP アドレスを入力する。
			選択した場合、ターゲッ	
			トで使用する IP アドレス	
			を入力します。	
		ポート (opt)	IP アドレスで「固定」を	ポート番号を入力する。
			選択した場合、ターゲッ	
			トのポート番号を入力し	
			ます。	
		LUN	IP アドレスで「固定」を	LUN 番号を入力する。
			選択した場合、ターゲッ	
			トの LUN 番号を入力しま	
			す。	
		認証方式	認証方式を選択します。	画面から選択する。
		CHAP ユーザー名	認証方式で、「 CHAP 」ま	認証ユーザー名を入力す
			たは「Mutual CHAP」を	る。
			選択した場合、認証ユー	文字列は、半角英数字およ
			ザー名を入力します。	び記号で構成された 127 文
				字以内とする[注 2]。
		CHAP パスワード	認証方式で、「 CHAP 」ま	パスワードを入力する。
			たは「Mutual CHAP」を	文字列は、半角英数字およ
			選択した場合、CHAP 認	び記号で構成された 12 以
			証に使用するパスワード	上 16 文字以内とする[注
			を入力します。	2] _°
		Mutual CHAP パスワー	認証方式で、「Mutual	パスワードを入力する。
		К	CHAP 」を選択した場合、	文字列は、半角英数字およ
			Mutual CHAP 認証に使用	び記号で構成された 12 以
			するパスワードを入力し	上 16 文字以内とする[注
			ます。	2]。

[注 1]:設定したい接続速度が設定値にない場合、設定値に「自動」を選択してください。 [注 2]:ハードウェアのモデルによっては記号が使用できない場合があります。半角英数字のみを使用することを推奨します。

4.4. CNA 設定

「4.1 カード設定」でオンボードまたは PCI カードのカードタイプに、「CNA」を指定した場合に設定します。

「4.2 ポート設定」で設定した、CNA の機能タイプ数分設定します。 機能タイプ別の設定値について説明します。

項目名		説明	設定値		
機	機能タイプが FCoE の場合				
	最少带域幅[%]	帯域幅の最小値を入力しま	帯域幅の最小値を入力す		
		す。	る。[注 1]		
	最大带域幅[%]	帯域幅の最大値を入力しま	帯域幅の最大値を入力す		
		す。	る。[注 1]		
機	能タイプが LAN または	iSCSI の場合			
	最少带域幅[%]	帯域幅の最小値を入力しま	帯域幅の最小値を入力す		
		す。	る。[注 1]		
	最大帯域幅[%]	帯域幅の最大値を入力しま	帯域幅の最大値を入力す		
		す。	る。[注 1]		
	VLAN ID	VLAN ID を入力します。	VLAN ID を入力する。		

[注1]:1つのIOチャネルのすべての合計が100になるように設定します。 1つのIOチャネルのすべての帯域幅の合計が100でない場合、帯域幅の値はそれに応じて内部で調整されます。

4.5. 仮想アドレス設定

「4.1 カード設定」で入力したカード情報数分設定します。

カードタイプ別の設定値について説明します。

項目名		名	説明	設定値
カードタイプが LAN の場合				
	仮	5想アドレス割り当て	仮想アドレス割り当てを行	(チェックあり)=仮想ア
			う場合に選択します。	ドレスを割り当てる
	仮	ō想アドレス[注 1]		
		自動割り当て	プール管理からの自動割り	(チェックあり)=自動割

項	〔目:	名	説明	設定値
			当てを有効にする場合に選	り当てを有効にする
			択します。	
		MAC[注 2]	仮想 MAC アドレスを入力し	仮想 MAC アドレスを入
			ます。	力する。
				2桁ずつの半角英数字を
				コロン(:)またはハイフン
				(-)で区切る。
カ	·	ドタイプが FC の場合		
	仮	想アドレス割り当て	仮想アドレス割り当てを行	(チェックあり)=仮想ア
			う場合に選択します。	ドレスを割り当てる
	仮	想アドレス[注 1]		
		自動割り当て	プール管理からの自動割り	(チェックあり)=自動割
			当てを有効にする場合に選	り当てを有効にする
			択します。	
		WWNN[注 2]	仮想 WWNN を入力します。	仮想 WWNN を入力す
				る。
				2 桁ずつの半角英数字を
				コロン(:)で区切る。
		WWPN[注 2]	仮想 WWPN を入力します。	仮想 WWPN を入力す
				る。
				2桁ずつの半角英数字を
				コロン(:)で区切る。
力	·	ドタイプが CNA の場合		
	仮	想アドレス割り当て	仮想アドレス割り当てを行	(チェックあり)=仮想ア
			う場合に選択します。	ドレスを割り当てる
	仮	想アドレス[注 1]		
		自動割り当て	プール管理からの自動割り	(チェックあり)=自動割
			当てを有効にする場合に選	り当てを有効にする
			択します。	
		WWNN[注 2]	機能タイプが「FCoE」の場	仮想 WWNN を入力す
			合、仮想 WWNN を入力しま	る。
			す。	2桁ずつの半角英数字を
				コロン (:) で区切る。
		WWPN[注 2]	機能タイプが「FCoE」の場	仮想 WWPN を入力す
			合、仮想 WWPN を入力しま	る。

項目名		名	説明	設定値
			す。	2桁ずつの半角英数字を
				コロン(:)で区切る。
		E-MAC[注 2]	機能タイプが「FCoE」の場	仮想 E-MAC アドレスを
			合、仮想 E-MAC アドレスを	入力する。
			入力します。	2 桁ずつの半角英数字を
				コロン(:)またはハイフン
				(-)で区切る。
		MAC[注 2]	機能タイプが「iSCSI」また	仮想 MAC アドレスを入
			は「LAN」の場合、仮想	力する。
			MAC アドレスを入力しま	2 桁ずつの半角英数字を
			す。	コロン(:)またはハイフン
				(-)で区切る。

[注 1]:「仮想アドレス割り当て」にチェックを付けた場合のみ設定します。 [注 2]:「自動割り当て」にチェックを付けない場合のみ設定します。

注意

- IQN、WWPN、仮想MACアドレスは、全体で一意である必要があります。
 WWNNは、同一カードを除き、全体で一意である必要があります。
 IQN、WWPN、WWNNが重複し、同一ボリュームに同時にアクセスするとボリュームを破壊する可能性があります。
 仮想MACアドレスが重複すると、ネットワーク通信ができなくなります。
- マルチキャストMACアドレスは仮想MACアドレスとして使用できません。
 任意に仮想アドレスを設定すると、他カードの工場出荷値と重複する可能性があります。

ユーザーが重複しない仮想アドレスを事前に準備してください。

5. ストレージ用プロファイルの設定項目

ストレージ用のプロファイル中で設定する項目を記載します。対象とするストレージ種類 に応じて選択可能な項目が異なる場合があります。 各項目の詳細は、対象ストレージのマニュアルを参照してください。

5.1. ETERNUS DX 用プロファイル

RAID&ディスク構成タブ

項目名		説明	設定値
R	AID 構成		
	RAID グループ名	RAID グループ名を指定しま	RAID グループ名文字列を
		す。	入力する。
		注意	1~16 文字が入力可能。
		装置に設定済みの RAID ク	
		ループ名は指定できませ	
		\mathcal{h}_{\circ}	
	RAID レベル	構築するディスクアレイの	プルダウンから以下を選
		RAID レベルを指定します。	択する。
			RAID1、RAID5、
			RAID6、RAID1+0
	ディスク本数	ディスクアレイに組み込む	ディスク数を指定する。
		ディスク本数を指定しま	選択した RAID レベルに
		す。	応じて選択可能な台数は
			異なる。
	ディスクインチ	ディスクドライブの種類	プルダウンから以下を選
		(ドライブ外形サイズ)を	択する。
		指定します。	2.5 Inch、3.5 Inch
	ディスク種別	ディスクアレイに組み込む	プルダウンから以下を選
		ディスクドライブの種類	択する。
		(インターフェース種類)	ETERNUS のモデル、選
		を指定します。	択したディスクインチに
			応じて選択可能な種別は
			異なる。

項目名		名	説明	設定値
				SAS、NL-SAS、SED、
				SSD
	デ	ィスク容量	ディスクアレイに組み込む	プルダウンから以下を選
			ディスクドライブの種類	択する。
			(ディスク容量)を指定し	選択したディスクイン
			ます。	チ、ディスク種別に応じ
				て選択可能な容量は異な
				る。
				300GB、450GB、1TB ほ
				カ
	ボ	リューム		
		ボリューム名	RAID グループに作成するボ	RAID グループに作成する
			リューム名を指定します。	ボリューム名文字列を指
			注意	定する。
				1~16 文字が入力可能。
			装置に設定済みのボリュー	
			ム名は指定できません。	
		ボリュームサイズ	RAID グループに作成するボ	テキストボックスにボリ
			リュームサイズを指定しま	ュームサイズを指定し、
			す。	プルダウンから以下を選
				択する。
				最後のボリュームサイズ
				に対しては"max"を指定す
				ると RAID グループの残
				り全容量が割り当てられ
				る。
				ETERNUS DX60 S2 では
				"max"は指定できない。
				MB、GB、TB
グ	`D`	ーバルホットスペア		
	デ	ィスクインチ	ホットスペアとして定義す	プルダウンから以下を選
			るディスクドライブの種類	択する。
			(ドライブ外形サイズ)を	2.5 Inch、3.5 Inch
			指定します。	
	デ	イスク種別	ホットスペアとして定義す	プルダウンから以下を選

項	〔目名	説明	設定値
		るディスクドライブの種類	択する。
		(インターフェース種類)	ETERNUS のモデル、選
		を指定します。	択したディスクインチに
			応じて選択可能な種別は
			異なる。
			SAS、NL-SAS、SED、
			SSD
	ディスク容量	ホットスペアとして定義す	プルダウンから以下を選
		るディスクドライブの種類	択する。
		(ディスク容量)を指定し	選択したディスクイン
		ます。	チ、ディスク種別に応じ
			て選択可能な容量は異な
			る。
			300GB、450GB、1TB ほ
			カ
쟈	ストアフィニティ		
	LUN グループ		
	LUN グループ名	LUN グループ名を指定しま	LUN グループ名文字列を
	LUN グループ名	LUN グループ名を指定します。	LUN グループ名文字列を 指定する。
	LUN グループ名	LUN グループ名を指定しま す。 注意	LUN グループ名文字列を 指定する。
	LUN グループ名	LUN グループ名を指定します。 す。 注意	LUN グループ名文字列を 指定する。
	LUN グループ名	LUN グループ名を指定しま す。 注意 装置に設定済みの LUN グル	LUN グループ名文字列を 指定する。
	LUN グループ名	LUN グループ名を指定しま す。 注意 装置に設定済みの LUN グル ープ名は指定できません。	LUN グループ名文字列を 指定する。
	LUN グループ名 ボリューム	LUN グループ名を指定しま す。 注意 装置に設定済みの LUN グル ープ名は指定できません。	LUN グループ名文字列を 指定する。
	LUN グループ名 ボリューム ボリューム名	 LUN グループ名を指定します。 注意 装置に設定済みの LUN グル ープ名は指定できません。 LUN グループに属するボリ 	LUN グループ名文字列を 指定する。 LUN グループに属するボ
	LUN グループ名 ボリューム ボリューム名	 LUN グループ名を指定します。 注意 装置に設定済みの LUN グル ープ名は指定できません。 LUN グループに属するボリ ューム名を指定します。 	LUN グループ名文字列を 指定する。 LUN グループに属するボ リューム名文字列を入力
	LUN グループ名 ボリューム ボリューム名	 LUN グループ名を指定します。 注意 装置に設定済みの LUN グル ープ名は指定できません。 LUN グループに属するボリ ューム名を指定します。 	LUN グループ名文字列を 指定する。 LUN グループに属するボ リューム名文字列を入力 する。
	LUN グループ名 ボリューム ボリューム名	LUN グループ名を指定しま す。 注意 装置に設定済みの LUN グル ープ名は指定できません。 LUN グループに属するボリ ューム名を指定します。	LUN グループ名文字列を 指定する。 LUN グループに属するボ リューム名文字列を入力 する。 プロファイルで作成する
	LUN グループ名 ボリューム ボリューム名	LUN グループ名を指定しま す。 注意 装置に設定済みの LUN グル ープ名は指定できません。 LUN グループに属するボリ ューム名を指定します。	LUN グループ名文字列を 指定する。 LUN グループに属するボ リューム名文字列を入力 する。 プロファイルで作成する ボリュームか、すでに装
	LUN グループ名 ボリューム ボリューム名	LUN グループ名を指定しま す。 注意 装置に設定済みの LUN グル ープ名は指定できません。 LUN グループに属するボリ ューム名を指定します。	LUN グループ名文字列を 指定する。 LUN グループに属するボ リューム名文字列を入力 する。 プロファイルで作成する ボリュームか、すでに装 置に作成されているボリ
	LUN グループ名 ボリューム ボリューム名	 LUN グループ名を指定します。 注意 装置に設定済みの LUN グル ープ名は指定できません。 LUN グループに属するボリ ューム名を指定します。 	LUN グループ名文字列を 指定する。 LUN グループに属するボ リューム名文字列を入力 する。 プロファイルで作成する ボリュームか、すでに装 置に作成されているボリ ュームを指定する。
	LUN グループ名 ボリューム ボリューム名 ポートグループ	LUN グループ名を指定しま す。 注意 装置に設定済みの LUN グル ープ名は指定できません。 LUN グループに属するボリ ューム名を指定します。	LUN グループ名文字列を 指定する。 LUN グループに属するボ リューム名文字列を入力 する。 プロファイルで作成する ボリュームか、すでに装 置に作成されているボリ ュームを指定する。
	LUN グループ名 ボリューム ボリューム名 ポートグループ ポートグループ名	LUN グループ名を指定しま す。 注意 装置に設定済みの LUN グル ープ名は指定できません。 LUN グループに属するボリ ューム名を指定します。 ポートグループ名を指定し	LUN グループ名文字列を 指定する。 LUN グループに属するボ リューム名文字列を入力 する。 プロファイルで作成する ボリュームか、すでに装 置に作成されているボリ ュームを指定する。 ポートグループ名文字列
	LUN グループ名 ボリューム ボリューム名 ポートグループ ポートグループ名	LUN グループ名を指定しま す。 注意 装置に設定済みの LUN グル ープ名は指定できません。 LUN グループに属するボリ ューム名を指定します。 ポートグループ名を指定し ます。	LUN グループ名文字列を 指定する。 LUN グループに属するボ リューム名文字列を入力 する。 プロファイルで作成する ボリュームか、すでに装 置に作成されているボリ ュームを指定する。 ポートグループ名文字列 を指定する。
	LUN グループ名 ボリューム ボリューム名 ボートグループ ポートグループ名	LUN グループ名を指定しま す。 注意 装置に設定済みの LUN グル ープ名は指定できません。 LUN グループに属するボリ ューム名を指定します。 ポートグループ名を指定し ます。 注意	LUN グループ名文字列を 指定する。 LUN グループに属するボ リューム名文字列を入力 する。 プロファイルで作成する ボリュームか、すでに装 置に作成されているボリ ュームを指定する。 パートグループ名文字列 を指定する。 1~16 文字が入力可能。

項目名	説明	設定値
	装置に設定済みのポートグ	
	ループ名は指定できませ	
	\mathcal{N}_{\circ}	
ポート		
ポート番号	ポートグループに属するポ	ポートグループに属する
	ート番号を指定します。	ポート番号を三桁の数字
		で指定する。
ホストグループ		
ホストグループ名	ホストグループ名を指定し	ホストグループ名文字列
	ます。	を指定する。
	注意	1~16 文字が入力可能。
	装置に設定済みのホストグ	
	ループ名は指定できませ	
	h.	
ホストタイプ	ホストグループのタイプを	プルダウンから以下を選
	指定します。	択する。
		iSCSI、FC
ホスト	I	I
ホスト名	ホストグループに属するホ	ホストグループに属する
	スト名を指定します。	ホスト名文字列を指定す
	注意	る。
	壮震に設定次万のナフトタ	1~16 文字が入力可能。
	表しに成足術のの小へ下右	
+7 b i80 81	は相圧しさません。	iccel タ 立字 可 お 入 力 主
	ホハト石を定我りる10001 タを指定します	るの石文子列を八刀り
	コと旧たしより。	る。 生雨に"ian "またけ"oui "た
	イプボ につり タのトキにう	九頃に Iqii. よたは Eui. を 入力する
	イノが10001石のとさに八	
ホ マト 14/14/NI	フリモレッ。	ホスト ΜΜΛΝ 立今別もフ
	wへr泊てた我りる小へr MMMNIを指定します	小ハト VV VVIN スナ⁄小を八 ー ー ー
	VV VVIN で相圧しより。 ホストガループのナフトタ	/Jッる。 16 女字の 16 准粉ぶぇ -
		Ⅰ スナッ Ⅰ 世数///八
	イノル「しいくさに八刀り肥」	「」日仁○

項目名		説明	設定値
	Pre 実行コマンド	プロファイルの適用動作	記述内容については対象
		(RAID/ホットスペア/ホス	装置の『CLI ユーザーガイ
		トアフィニティ設定)の実	ド』を参照してくださ
		行前に ETERNUS に対して	<i>د</i> ر.
		実施したい制御コマンドを	
		記述します。	
		特別な要求がない場合はチ	
		ェックボックスを無効にし	
		ておきます。	
	Post 実行コマンド	プロファイルの適用動作	記述内容については対象
		(RAID/ホットスペア/ホス	装置の『CLI ユーザーガイ
		トアフィニティ設定)の完	ド』を参照してくださ
		了後に ETERNUS に対して	ℓ ^ν ₀
		実施したい制御コマンドを	
		記述します。	
		特別な要求がない場合はチ	
		ェックボックスを無効にし	
		ておきます。	

ポイント

- アレイ構成に使用するディスクドライブの搭載スロット位置は指定できません。
- ホットスペア構築に使用するディスクドライブの搭載スロット位置は指定できません。

5.2. ETERNUS NR 用プロファイル

項目名		説明	設定値
SNMP サービス			
	SNMP サービス設定	SNMP サービス設定を使用	(チェックあり)=使用
		するかどうかを指定しま	する
		す。	(チェックなし)=使用
			しない
	SNMP エージェント	SNMP エージェントの有	ON=機能を有効にする
	(ON/OFF)	効、無効を指定します。	OFF=機能を無効にする

IJ	頁目名	説明	設定値
	SNMP トラップ	SNMP トラップの有効、無	ON=機能を有効にする
	(ON/OFF)	効を指定します。	OFF=機能を無効にする
11	コミュニティー (ホスト用)		
	コミュニティー名	SNMP コミュニティー名を	コミュニティー名 3~32
		指定します。	文字の文字列を入力す
			る。
11	^ュ ーザー (v3 ホスト用)		
	ユーザー名	SNMP ユーザー名を指定し	ユーザー名 3~32 文字の
		ます。	文字列を入力する。
	認証設定	SNMP 認証設定を有効にす	(チェックあり)=有効
		るかどうかを指定します。	にする
	認証プロトコル	SNMP 認証プロトコルを指	プルダウンから以下を選
		定します。	択する。
			MD5、SHA、SHA2、
			NoAuth
	認証パスワード	SNMP 認証パスワードを入	認証パスワード 8~30 文
		力します。	字の文字列を入力する。
	暗号化設定	SNMP 暗号化設定を有効に	(チェックあり)=有効
		するかどうかを指定しま	にする
		す。	
	暗号化プロトコル	SNMP 暗号化プロトコルを	プルダウンから以下を選
		指定します。	択する。
			DES、AES、NoPriv
	暗号化パスワード	SNMP 暗号パスワードを指	暗号化パスワード 3~30
		定します。	文字の文字列を入力す
			る。
v	3 ホスト		
	アドレス	SNMP ホストの IP アドレ	ホストのIPアドレスを
		スを指定します。	IPv4 または IPv6 のアド
			レス表記に従った文字列
			を入力する。
	ユーザー名	SNMP ユーザー名を指定し	プルダウンから設定済み
		ます。	のユーザーを選択する。

NTPタブ

項目名		名	説明	設定値	
時					
	眹	病の自動調整	時刻の自動調整を有効にす	(チェックあり)=有効に	
			るかどうかを指定します。	する	
		サーバー設定	時刻提供サーバーの設定を	(チェックあり)=有効に	
			有効にするかどうかを指定	する	
			します。	(チェックなし) =無効に	
				する	
		アドレス	時刻提供サーバーの IP アド	時刻提供サーバーのIPア	
			レスを指定します。	ドレスを IPv4 または IPv6	
				のアドレス表記に従った文	
				字列を入力する。	
		プロトコルバージ	NTP プロトコルのバージョ	3 =インターネット標準	
		ョン	ンを指定します。	RFC#1305 に基づく NTP	
				プロトコルバージョン 3	
				4=インターネット標準	
				RFC#5905 に基づいた	
				NTP プロトコルバージョ	
				ン4	
				auto(デフォルト) =Data	
				ONTAP で NTP プロトコ	
				ルのバージョンを選択	

6. スイッチ用プロファイルの設定項目

スイッチ用のプロファイル中で設定する項目を記載します。 各項目の詳細は、対象スイッチのマニュアルを参照してください。

6.1. SR-X 用プロファイル

項目名		説明	設定値
SNMP サービス			
SN	IMP サービス設定	SNMP サービス設定を使用	(チェックあり)=使用す
		するかどうかを指定しま	る

項	目	名	説明	設定値	
			す。	(チェックなし)=使用し	
				ない	
		SNMP エージェント	SNMP エージェントとトラ	ON=機能を有効にする	
		とトラップ	ップの有効、無効を指定し	OFF=機能を無効にする	
		(ON/OFF)	ます。		
	S	NMP エージェント設	SNMP エージェント設定を	(チェックあり)=使用す	
	定		使用するかどうかを指定し	3	
			ます。	(チェックなし)=使用し	
				ない	
		エージェントアドレ	エージェントアドレスを有	(チェックあり)=エージ	
		ス	効にするかどうかを指定し	ェントアドレスを有効にす	
			ます。	3	
				加えて、エージェントアド	
				レスを IPv4 形式で入力す	
				る	
		SNMP エンジン ID	SNMP エンジン ID を有効	(チェックあり)=SNMP	
			にするかどうかを指定しま	エンジン ID を有効にする	
			す。	加えて、SNMP エンジン ID	
				を入力する。	
S	NM	IP ホスト (SNMPv1 or v	2c)		
	番	号	SNMP ホスト定義番号を指	プルダウンから選択する。	
			定します。		
	ア	・ドレス	SNMP ホストの IP アドレ	SNMP ホストの IP アドレ	
			スを指定します。	スを IPv4 形式で指定す	
				る。	
	П	ミュニティー名	SNMP ホストのコミュニテ	SNMP ホストのコミュニテ	
			ィー名を指定します。	ィー名文字列を入力する。	
	ŀ	・ラップ	SNMP トラップの送信有無	プルダウンから以下を選択	
			を指定します。	する。	
				Off、v1、v2c	
	書	き込み	SNMP マネージャーからの	(チェックあり)=許可す	
			書込みを許可するかどうか	る	
			を指定します。	(チェックなし)=許可し	
				ない	
S	SNMP ユーザー (SNMPv3)				

項	項目名		説明	設定値
	番	号	SNMP ユーザー定義番号を	プルダウンから選択する。
			指定します。	
	Ц	ーザー名	SNMP ユーザー名を指定し	SNMP ユーザー名文字列を
			ます。	入力する。
	ア	ドレス設定	SNMP のホストアドレスを	(チェックあり)=有効に
			有効にするかどうかを指定	する
			します。	(チェックなし)=無効に
				する
		ホスト番号	SNMP ホスト定義番号を指	プルダウンから選択する。
			定します。	
		ホストアドレス	SNMP ホストの IP アドレ	SNMP ホストの IP アドレ
			スを指定します。	ス文字列を入力する。
	ŀ	ラップ設定	SNMP トラップ設定を有効	(チェックあり)=有効に
			にするかどうかを指定しま	する
			す。	(チェックなし) =無効に
				する
		ホスト番号	SNMP ホスト定義番号を指	プルダウンから選択する。
			定します。	
		ホストアドレス	SNMP ホストの IP アドレ	SNMP ホストの IP アドレ
			スを指定します。	ス文字列を入力する。
	認	証設定	SNMP 認証プロトコルを有	(チェックあり)=有効に
			効にするかどうかを指定し	する
			ます。	(チェックなし) =無効に
				する
		認証プロトコル	SNMP 認証プロトコルを指	プルダウンから以下を選択
			定します。	する。
				None、MD5、SHA
		認証パスワード	SNMP 認証パスワードを指	SNMP 認証パスワード文字
			定します。	列を入力する。
	暗	号化設定	SNMP 暗号化設定を有効に	(チェックあり)=有効に
			するかどうかを指定しま	する
			す。	(チェックなし) =無効に
				する
		暗号化プロトコル	SNMP 暗号プロトコルを指	プルダウンから以下を選択
			定します。	する。

項	〔目:	名	説明	設定値
				None、DES
		暗号化パスワード	SNMP 暗号パスワードを指	SNMP 暗号パスワード文字
			定します。	列を入力する。
	請	きみ取り	SNMP MIB 読取りを有効に	(チェックあり)=有効に
			するかどうかを指定しま	する
			す。	加えて、プルダウンから以
				下を指定する。
				none :読取りを許可しない
				all:読取りを許可する
	書き込み		SNMP MIB 書込みを有効に	(チェックあり)=有効に
			するかどうかを指定しま	する
			す。	加えて、プルダウンから以
				下を指定する。
				none :書込みを許可しない
				all:書込みを許可する
	通	知	SNMP MIB トラップ通知を	(チェックあり)=有効に
			有効にするかどうかを指定	する
			します。	加えて、プルダウンから以
				下を指定する。
				none:読出しを許可しない
				all:読出しを許可する

認証タブ

項目名		名	説明	設定値
アカウント				
	管	理者のパスワードの変	管理者パスワードを変更す	(チェックあり)=管理者
	更		るかどうかを指定します。	パスワードを変更する
		パスワード	新たな管理者パスワードを	パスワード文字列を入力す
			指定します。	る。

NTPタブ

項目名	説明	設定値
時刻の自動調整		

項	目名	説明	設定値
	時刻の自動調整	時刻の自動調整を有効にす	(チェックあり)=有効に
		るかどうかを指定します。	する
	サーバー設定	時刻提供サーバーの設定を	(チェックあり)=有効に
		有効にするかどうかを指定	する
		します。	(チェックなし)=無効に
			する
	プロトコル	使用するプロトコルを指定	Time=TCP を使用する
	(Time/SNTP)	します。	SNTP=UDP を使用する
	アドレス	時刻提供サーバーの IP アド	時刻提供サーバーの IP アド
		レスを指定します。	レス文字列を入力する。
	間隔設定	自動時刻設定する間隔を有	(チェックあり)=有効に
		効にするかどうかを指定し	する
		ます。	(チェックなし) =無効に
			する
	間隔時間	自動時刻設定の間隔を指定	起動時=起動時に行う
	(起動時/期間指	します。	期間指定=任意の期間に行
	定)		う。加えて、画面に期間を
			入力する
	タイムゾーン設定	タイムゾーン設定を有効に	(チェックあり)=有効に
		するかどうかを指定しま	する
		す。	(チェックなし) =無効に
			する
	グリニッジ標準時	装置が使用するグリニッジ	プルダウンから選択する。
	刻からの時間差	標準時刻からの時間差を指	
		定します。	

STPタブ

項目名		説明	設定値	
STP (スパニングツリープロトコル) 設定				
	STP	STP 設定を有効にするかど	(チェックあり)=有効に	
		うかを指定します。	する	
			加えて、プルダウンから選	
			択する。	

6.2. VDX 用プロファイル

項目名		説明	設定値		
S	SNMP サービス				
	SNMP サービス設定	SNMP サービス設定を使用	(チェックあり)=使用す		
		するかどうかを指定しま	3		
		す。	(チェックなし)=使用し		
			ない		
	SNMP エージェント	SNMP エージェントとトラ	ON=機能を有効にする		
	とトラップ	ップの有効、無効を指定し	OFF=機能を無効にする		
	(ON/OFF)	ます。			
ク	ブループ (コミュニティーと	ユーザー用)			
	グループ名	グループ名を指定します。	グループ名文字列を入力す		
			る。		
	SNMP バージョン	SNMP バージョンを指定し	プルダウンから以下を選択		
		ます。	する。		
			v1、v2c、v3		
	V3セキュリティレベ	SNMPv3 用セキュリティレ	(チェックあり)=有効に		
	IL IL	ベルを指定します。	する		
			加えて、プルダウンから以		
			下を選択する。		
			auth、noauth、priv		
	読み取り	SNMP MIB 読取りを有効に	(チェックあり)=有効に		
		するかどうかを指定しま	する		
		す。	加えて、プルダウンから以		
			下を指定する。		
			none :読取りを許可しない		
			all :読取りを許可する		
	書き込み	SNMP MIB 書込みを有効に	(チェックあり)=有効に		
		するかどうかを指定しま	する		
		す。	加えて、プルダウンから以		
			下を指定する。		
			none :書込みを許可しない		

項	〔目名	説明	設定値
			all : 書込みを許可する
	通知	SNMP MIB トラップ通知を	(チェックあり)=有効に
		有効にするかどうかを指定	する
		します。	加えて、プルダウンから以
			下を指定する。
			none:読出しを許可しない
			all : 読出しを許可する
П	ミュニティー (ホスト用)		
	コミュニティー名	SNMP コミュニティー名を	コミュニティー名文字列を
		指定します。	入力する。
	グループ	コミュニティーが所属する	(チェックあり)=有効に
		グループを指定します。	する
			加えて、プルダウンから選
			択済みのグループを選択す
			る。
	書き込み	SNMP コミュニティーの書	(チェックあり)=有効に
		込みを有効にするかどうか	する
		を指定します。	加えて、プルダウンから以
			下を選択する。
			Enabled、Disabled
차	スト		
	アドレス	SNMP ホストの IP アドレ	ホストの IP アドレスを
		スを指定します。	IPv4 または IPv6 のアドレ
			ス表記に従った文字列を入
			力する。
	コミュニティー名	SNMP コミュニティー名を	プルダウンから設定済みの
		指定します。	コミュニティー名を選択す
			る。
	重大度レベル	SNMP トラップレベルを指	プルダウンから選択する。
		定します。	
	トラップバージョン	SNMP トラップバージョン	プルダウンから以下を選択
		を指定します。	する。
			v1、v2c
	UDP ポート	SNMP トラップ送信ポート	SNMP トラップ送信ポート
		番号を指定します。	番号を入力する。

項	间名	説明	設定値
			「0」~「65535」が指定可
			能。
Ц	ーザー (v3 ホスト用)		
	ユーザー名	SNMP ユーザー名を指定し	ユーザー名 1~16 文字の文
		ます。	字列を入力する。
	グループ	SNMP グループ名を指定し	プルダウンから設定済みの
		ます。	グループを選択する。
	認証設定	SNMP 認証設定を有効にす	(チェックあり)=有効に
		るかどうかを指定します。	する
	認証プロトコル	SNMP 認証プロトコルを指	プルダウンから以下を選択
		定します。	する。
			MD5、SHA、NoAuth
	認証パスワード	SNMP 認証パスワードを入	認証パスワード 1~32 文字
		力します。	の文字列を入力する。
	暗号化設定	SNMP 暗号化設定を有効に	(チェックあり)=有効に
		するかどうかを指定しま	する
		す。	
	暗号化プロトコル	SNMP 暗号化プロトコルを	プルダウンから以下を選択
		指定します。	する。
			DES、AES128、NoPriv
	暗号化パスワード	SNMP 暗号パスワードを指	暗号化パスワード 1~32 文
		定します。	字の文字列を入力する。
v3	3ホスト		
	アドレス	SNMP ホストの IP アドレ	ホストのIPアドレスを
		スを指定します。	IPv4 または IPv6 のアドレ
			ス表記に従った文字列を入
			力する。
	ユーザー名	SNMP ユーザー名を指定し	プルダウンから設定済みの
		ます。	ユーザーを選択する。
	重大度レベル	SNMP トラップレベルを指	プルダウンから選択する。
		定します。	
	通知タイプ	SNMP 通知タイプを指定し	プルダウンから以下を選択
		ます。	する。
			traps、informs
	エンジンID	SNMP エンジン ID を指定	エンジン ID

項	间名	説明	設定値
		します。	<code>「0:0:0:0:0:0:0:0]</code> \sim
			「FF:FF:FF:FF:FF:FF:FF:FF:FF
			F:FF」を文字列で指定す
			る。
			文字パターンは、MAC ア
			ドレスと同様。
	UDP ポート	SNMP トラップ送信ポート	SNMP トラップ送信ポート
		番号を指定します。	番号を入力する。
			「0」~「65535」が指定可
			能。

認証タブ

項目名		名	説明	設定値
アカウント				
	管	理者のパスワードの変	管理者パスワードを変更す	(チェックあり)=管理
	更		るかどうかを指定します。	者パスワードを変更する
		パスワード	新たな管理者パスワードを	パスワード 8~32 文字の
			指定します。	文字列を入力する。

NTPタブ

項目名		名	説明	設定値
時	刻	の自動調整		
	戌	該の自動調整	時刻の自動調整を有効にす	(チェックあり)=有効
			るかどうかを指定します。	にする
		サーバー設定	時刻提供サーバーの設定を	(チェックあり)=有効
			有効にするかどうかを指定	にする
			します。	(チェックなし)=無効
				にする
		アドレス	時刻提供サーバーの IP アド	時刻提供サーバーの IP ア
			レスを指定します。	ドレスを IPv4 または IPv6
				のアドレス表記に従った
				文字列を入力する。
		タイムゾーン設定	タイムゾーン設定を有効に	(チェックあり)=有効

項目名			説明	設定値	
				するかどうかを指定しま	にする
				す。	(チェックなし)=無効
					にする
			地域	地域情報を指定します。	地域情報を(地域)/(都
					市)形式で入力する。

6.3. イーサネットスイッチ(10GBASE-T 48+6/10GBASE 48+6)用プロフ ァイル

項目名		説明	設定値
S	NMP サービス		
	SNMP サービス設定	SNMP サービス設定を使用	(チェックあり)=使用
		するかどうかを指定しま	する
		す。	(チェックなし)=使用
			しない
	SNMP エージェントと	SNMP エージェントとトラ	ON=機能を有効にする
	トラップ	ップの有効、無効を指定し	OFF =機能を無効にする
	(ON/OFF)	ます。	
グ	ループ (コミュニティーとニ	ユーザー用)	
	グループ名	グループ名を指定します。	グループ名文字列を入力
			する。
	SNMP バージョン	SNMP バージョンを指定し	プルダウンから以下を選
		ます。	択する。
			v1、v2c、v3
	V3セキュリティレベル	SNMPv3 用セキュリティレ	(チェックあり)=有効
		ベルを指定します。	にする
			加えて、プルダウンから
			以下を選択する。
			auth、noauth、priv
	読み取り	SNMP MIB 読取りを有効に	(チェックあり)=有効
		するかどうかを指定しま	にする
		す。	加えて、プルダウンから
			以下を指定する。

項目名	説明	設定値
		none:読取りを許可しな
		<i>V</i>
		Default :読取りを許可す
		る
書き込み	SNMP MIB 書込みを有効に	(チェックあり)=有効
	するかどうかを指定しま	にする
	す。	加えて、プルダウンから
		以下を指定する。
		none:書込みを許可しな
		V 1
		Default :書込みを許可す
		る
通知	SNMP MIB トラップ通知を	(チェックあり)=有効
	有効にするかどうかを指定	にする
	します。	加えて、プルダウンから
		以下を指定する。
		none:読出しを許可しな
		V N
		Default :読出しを許可す
		る
コミュニティー (ホスト用)		
コミュニティー名	SNMP コミュニティー名を	コミュニティー名文字列
	指定します。	を入力する。
グループ	コミュニティーが所属する	(チェックあり)=有効
	グループを指定します。	にする
		加えて、プルダウンから
		選択済みのグループを選
		択する。
書き込み	SNMP コミュニティーの書	(チェックあり)=有効
	込みを有効にするかどうか	にする
	を指定します。	加えて、プルダウンから
		以下を選択する。
		Enabled、Disabled
ホスト		
アドレス	SNMP ホストの IP アドレ	ホストのIPアドレスを

項	目名	説明	設定値
		スを指定します。	IPv4 または IPv6 のアド
			レス表記に従った文字列
			を入力する。
	コミュニティー名	SNMP コミュニティー名を	プルダウンから設定済み
		指定します。	のコミュニティー名を選
			択する。
	トラップバージョン	SNMP トラップバージョン	プルダウンから以下を選
		を指定します。	択する。
			v1、v2c
	UDP ポート	SNMP トラップ送信ポート	SNMP トラップ送信ポー
		番号を指定します。	ト番号を入力する。
			「1」~「65535」が指定
			可能。
Э	ーザー (v3 ホスト用)		
	ユーザー名	SNMP ユーザー名を指定し	ユーザー名 1~30 文字の
		ます。	文字列を入力する。
	グループ	SNMP グループ名を指定し	プルダウンから設定済み
		ます。	のグループを選択する。
	認証設定	SNMP 認証設定を有効にす	(チェックあり)=有効
		るかどうかを指定します。	にする
	認証プロトコル	SNMP 認証プロトコルを指	プルダウンから以下を選
		定します。	択する。
			MD5、SHA、NoAuth
	認証パスワード	SNMP 認証パスワードを入	認証パスワード 1~32 文
		力します。	字の文字列を入力する。
	暗号化設定	SNMP 暗号化設定を有効に	(チェックあり)=有効
		するかどうかを指定しま	にする
		す。	
	暗号化プロトコル	SNMP 暗号化プロトコルを	プルダウンから以下を選
		指定します。	択する。
			DES、NoPriv
	暗号化パスワード	SNMP 暗号パスワードを指	暗号化パスワード 1~32
		定します。	文字の文字列を入力す
			る。
v	3ホスト		

項目名		説明	設定値
	アドレス	SNMP ホストの IP アドレ	ホストの IP アドレスを
		スを指定します。	IPv4 または IPv6 のアド
			レス表記に従った文字列
			を入力する。
	ユーザー名	SNMP ユーザー名を指定し	プルダウンから設定済み
		ます。	のユーザーを選択する。
	通知タイプ	SNMP 通知タイプを指定し	プルダウンから以下を選
		ます。	択する。
			traps、informs
	UDP ポート	SNMP トラップ送信ポート	SNMP トラップ送信ポー
		番号を指定します。	ト番号を入力する。
			「1」~「65535」が指定
			可能。

認証タブ

項目名		説明	設定値
ア	・ カウント		
	管理者のパスワードの変	管理者パスワードを変更す	(チェックあり)=管理
	更	るかどうかを指定します。	者パスワードを変更する
	パスワード	新たな管理者パスワードを	パスワード 8~64 文字の
		指定します。	文字列を入力する。

NTPタブ

項目名		名	説明	設定値
時	刻	の自動調整		
	時	刻の自動調整	時刻の自動調整を有効にす	(チェックあり)=有効
			るかどうかを指定します。	にする
		サーバー設定	時刻提供サーバーの設定を	(チェックあり)=有効
			有効にするかどうかを指定	にする
			します。	(チェックなし) =無効
				にする
		アドレス	時刻提供サーバーの IP アド	時刻提供サーバーの IP ア
			レスを指定します。	ドレスを IPv4 または IPv6

項目名			説明	設定値
				のアドレス表記に従った
				文字列を入力する。
		モード	モードを指定します。	Broadcast=SNTP サーバ
				ーにブロードキャスト情
				報を問い合わせして時刻
				を同期する
				Unicast=SNTP クライア
				ントは SNTP サーバーと
				ポイント・ツー・ポイン
				トの関係で動作する
		間隔設定	自動時刻設定する間隔を有	(チェックあり)=有効
			効にするかどうかを指定し	にする
			ます。	(チェックなし) =無効
				にする
		間隔時間[s]	自動時刻設定の間隔[秒]を	画面に期間を入力する
			指定します。	
		タイムゾーン設定	タイムゾーン設定を有効に	(チェックあり)=有効
			するかどうかを指定しま	にする
			す。	(チェックなし) =無効
				にする
		グリニッジ標準時刻	装置が使用するグリニッジ	プルダウンから選択す
		からの時間差	標準時刻からの時間差を指	る。
			定します。	

6.4. CFX 用プロファイル

項目名			説明	設定値				
SNMP サービス								
	SI	NMP サービス設定	SNMP サービス設定を使用	(チェックあり)=使用				
			するかどうかを指定しま	する				
			す。	(チェックなし)=使用				
				しない				
		SNMP エージェントと	SNMP エージェントとトラ	ON=機能を有効にする				

項目名			説明	設定値			
		トラップ	ップの有効、無効を指定し	OFF=機能を無効にする			
	(ON/OFF) SNMP エージェント設定		ます。				
			SNMP エージェント設定を	(チェックあり)=使用			
			使用するかどうかを指定し	する			
			ます。	(チェックなし)=使用			
				しない			
		ドメイン ID	ドメイン ID を指定しま	ドメイン ID を入力する			
			す。				
		エージェントアドレス	エージェントアドレスを有	(チェックあり)=エー			
			効にするかどうかを指定し	ジェントアドレスを有効			
			ます。	にする			
				加えて、エージェントア			
				ドレスの IP アドレス文字			
				列を入力する。			
		SNMP エンジン ID	SNMP エンジン ID を有効	(チェックあり) =			
			にするかどうかを指定しま	SNMP エンジン ID を有効			
			す。	にする			
				加えて、SNMP エンジン			
				ID を入力する。			
S	NM	IP ホスト (SNMPv1 or v2	c)				
	番	号	SNMP ホスト定義番号を指	プルダウンから選択す			
			定します。	る。			
	アドレス		SNMP ホストの IP アドレ	SNMP ホストの IP アドレ			
			スを指定します。	スを入力する。			
	Л	ミュニティー名	SNMP ホストのコミュニテ	SNMP ホストのコミュニ			
			ィー名を指定します。	ティー名文字列を入力す			
				る。			
	Р	・ラップタイプ	SNMP トラップの送信有無	プルダウンから以下を選			
			を指定します。	択する。			
				off、v1、v2c			
	書	き込み	SNMP マネージャーからの	(チェックあり)=許可			
			書込みを許可するかどうか	する			
			を指定します。	(チェックなし)=許可			
				しない			
S	SNMP ユーザー (SNMPv3)						
項	间名	説明	設定値				
---	---------	------------------	------------------				
	番号	SNMP ユーザー定義番号を	プルダウンから選択す				
		指定します。	る。				
	ユーザー名	SNMP ユーザー名を指定し	(チェックあり)=指定				
		ます。	する				
			加えて、SNMP ユーザー				
			名文字列を入力する。				
	アドレス設定	SNMP のホストアドレスを	(チェックあり)=有効				
		有効にするかどうかを指定	にする				
		します。	(チェックなし)=無効				
			にする				
	ホスト番号	SNMP ホスト定義番号を指	プルダウンから選択す				
		定します。	る。				
	ホストアドレス	SNMP ホストの IP アドレ	SNMP ホストの IP アドレ				
		スを指定します。	ス文字列を入力する。				
	トラップ設定	SNMP トラップ設定を有効	(チェックあり)=有効				
		にするかどうかを指定しま	にする				
		す。	(チェックなし)=無効				
			にする				
	ホスト番号	SNMP ホスト定義番号を指	プルダウンから選択す				
		定します。	る。				
	ホストアドレス	SNMP ホストの IP アドレ	SNMP ホストの IP アドレ				
		スを指定します。	ス文字列を入力する。				
	認証設定	SNMP 認証プロトコルを有	(チェックあり)=有効				
		効にするかどうかを指定し	にする				
		ます。	(チェックなし)=無効				
			にする				
	認証プロトコル	SNMP 認証プロトコルを指	プルダウンから以下を選				
		定します。	択する。				
			None、MD5、SHA				
	認証パスワード	SNMP 認証パスワードを指	SNMP 認証パスワード文				
		定します。	字列を入力する。				
	暗号化設定	SNMP 暗号化設定を有効に	(チェックあり)=有効				
		するかどうかを指定しま	にする				
		す。	(チェックなし)=無効				
			にする				

項	〔目:	名	説明	設定値
		暗号化プロトコル	SNMP 暗号プロトコルを指	プルダウンから以下を選
			定します。	択する。
				None、DES
		暗号化パスワード	SNMP 暗号パスワードを指	SNMP 暗号パスワード文
			定します。	字列を入力する。
	読	わ取り	SNMP MIB 読取りを有効に	(チェックあり)=有効
			するかどうかを指定しま	にする
			す。	加えて、プルダウンから
				以下を指定する。
				none:読取りを許可しな
				V
				all :読取りを許可する
	書	き込み	SNMP MIB 書込みを有効に	(チェックあり)=有効
			するかどうかを指定しま	にする
			す。	加えて、プルダウンから
				以下を指定する。
				none : 書込みを許可しな
				V)
				all : 書込みを許可する
	通	5年1月11日1日11日1日11日11日11日11日11日11日11日11日11日1	SNMP MIB トラップ通知を	(チェックあり)=有効
			有効にするかどうかを指定	にする
			します。	加えて、プルダウンから
				以下を指定する。
				none: 通知を許可しない
				all: 通知を許可する

Interfaceタブ

項目名	説明	設定値
インターフェース設定		
ターゲット	ether ポートを指定します。	「シャーシ ID/ether ポー
		ト番号」または「ドメイ
		ン ID/スイッチ ID/シャー
		シ ID/ether ポート番号」
		で指定します。

項	頁目名	説明	設定値
	ポートタイプ	Endpoint にするかどうかを	(チェックあり)=
		指定します。	Endpoint にする
	LLDP	LLDP を有効にするかどうか	(チェックあり)=有効
		を指定します。	にする
			加えて、プルダウンから
			以下を選択する。
			Disable=LLDP 機能は動
			作しない
			Enable=LLDP 情報の送受
			信を行う
			Send=LLDP 情報の送信
			だけを行う
			Receive=LLDP 情報の受
			信だけを行う
	Cfab ポートモード	Cfab ポートモードを有効に	(チェックあり)=有効
		するかどうかを指定しま	にする
		す。	加えて、プルダウンから
			以下を選択する。
			Auto=自動的に検知した
			ポート種別で動作する
			External=強制的に外部ポ
			ートとして動作する

認証タブ

項目名			説明	設定値
ア	カ	ウント		
	管理者のパスワードの変		管理者パスワードを変更す	(チェックあり)=管理者
	更	-	るかどうかを指定します。	パスワードを変更する
		パスワード	新たな管理者パスワードを	パスワード文字列を入力す
			指定します。	る。
A	AA	設定		
	A	AA グループ ID	AAA グループ ID を指定し	プルダウンから以下を選択
			ます。	する。
				0~9

項目名				説明	設定値
	LDA	AP 楔	後能	LDAP サービス機能の有	有効=機能を有効にする
	LDAP 設定			効、無効を指定します。	無効=機能を無効にする
				LDAP クライアント設定を	(チェックあり)=有効に
				有効にするかどうかを指定	する
				します。	(チェックなし) =無効に
					する
		クラ	イアント		
		番	号	クライアント番号を指定し	プルダウンから以下を選択
				ます。	する。
					0~3
		サ	ーバー情報設定	サーバー情報設定を有効に	(チェックあり)=有効に
				するかどうかを指定しま	する
				す。	(チェックなし) =無効に
					する
			LDAP サーバー	LDAP サーバーの IP アド	LDAP サーバーの IP アドレ
			ドレス	レスを指定します。	ス文字列を入力する。
			送信元	送信元情報を有効にするか	(チェックあり)=有効に
				どうかを指定します。	する
					(チェックなし) =無効に
					する
			ドメイン ID	送信元ドメイン ID を指定	プルダウンから以下を選択
				します。	する。
					1~32
			アドレス	送信元 IP アドレスを指定	送信元の IP アドレス文字列
				します。	を入力する。
			RDN	RDN を有効にするかどう	(チェックあり)=有効に
				かを指定します。	する
					加えて、 RDN を入力する。
					例:CN
			バインド名	RDN を除くバインド名を	(チェックあり)=有効に
			(RDN 以外)	有効にするかどうかを指定	する
				します。	加えて、 RDN を除くバイン
					ド名を入力する。
					例:CN=user,DC=local
			管理者	管理者クラス情報を有効に	(チェックあり)=有効に

項目名			説明	設定値		
					するかどうかを指定しま	する
					す。	(チェックなし) =無効に
						する
				クラス ID	クラス ID を指定します。	プルダウンから以下を選択
						する。
						0~3
				クラス値	管理者クラス値を指定しま	管理者クラス値の文字列を
					す。	入力する。
						例:user

NTPタブ

項	〔目:	名	説明	設定値
時刻の自動調整				
	時	刻の自動調整	時刻の自動調整を有効に	(チェックあり)=有効に
			するかどうかを指定しま	する
			す。	
		サーバー設定	時刻提供サーバーの設定	(チェックあり)=有効に
			を有効にするかどうかを	する
			指定します。	(チェックなし) =無効に
				する
		プロトコル	使用するプロトコルを指	Time=TCP を使用する
		(Time/SNTP)	定します。	SNTP=UDP を使用する
		アドレス	時刻提供サーバーの IP ア	時刻提供サーバーの IP アド
			ドレスを指定します。	レス文字列を入力する。
		間隔設定	自動時刻設定する間隔を	(チェックあり)=有効に
			有効にするかどうかを指	する
			定します。	(チェックなし) =無効に
				する
		間隔時間	自動時刻設定の間隔を指	起動時=起動時に行う
		(起動時/期間指	定します。	期間指定=任意の期間に行
		定)		う。加えて、画面に期間を
				入力する
		タイムゾーン設定	タイムゾーン設定を有効	(チェックあり) =有効に

項目名			説明	設定値	
				にするかどうかを指定し	する
				ます。	(チェックなし) =無効に
					する
			グリニッジ標準時刻	装置が使用するグリニッ	プルダウンから選択する。
			からの時間差	ジ標準時刻からの時間差	
				を指定します。	

7. 共通ポリシーの設定項目(ISM 2.5.0.030 以降)

対象サーバー種別に依存することなく作成できる共通ポリシーで設定可能な項目を記載し ます。

7.1. 監視ポリシー

邛	自名	説明	設定値
竪	記視ポリシー有効	監視ポリシーを有効にする	(チェックあり)=有効に
		かどうかを指定します。	する
		注意	(チェックなし) =無効に
			する
		プロファイル、またはポリ	
		シーを作成するときに監視	
		ポリシーを利用する場合、	
		本項目で(チェックあり)	
		を指定してください。	
検	記ノード登録時、監視ポ	検出ノード登録時、監視ポ	(チェックあり)=有効に
リ	シー適用を有効にする	リシー適用を有効にするか	する
		どうかを指定します。	(チェックなし) =無効に
			する
S	NMP 一般設定		
	SNMP 有効	SNMP を有効にするかどう	有効=SNMP を有効にする
		かを指定します。	無効=SNMP を無効にする
	SNMP ポート(初期値:	SNMP サービスが待機して	ポート番号を入力する。
	161)	いるポート番号を指定しま	初期値は UDP 161
		す。	

項	頁目名	説明	設定値
	SNMPv1/v2c コミュニ	SNMP v1/v2c の場合のコミ	コミュニティー文字列を入
	ティー名	ュニティー文字列を指定し	力する。
		ます。	
S	NMP トラップ送信先		
	SNMP トラップコミュ	SNMP トラップ送信先の コ	SNMP トラップコミュニテ
	ニティー	ミュニティー名を指定しま	ィー文字列を入力する。
		す。	
	送信先 SNMP サーバー	「トラップ送信先」として	SNMP サーバーの IP アド
	1-7	設定するコミュニティーに	レス、または DNS 文字列
		属するサーバーの DNS 名ま	を入力する。
		たは IP アドレスを指定しま	
		す。	
	プロトコル	トラップの受信に使用する	プルダウンから以下を選択
		SNMP プロトコルバージョ	する。
		ンを指定します。	SNMPv1、SNMPv2c
時	序刻		
	タイムモード	時刻設定を管理対象サーバ	システム RTC=システムク
		ーから取得する、または	ロックから時刻を取得する
		NTP サーバーから取得する	NTP サーバー=ネットワー
		かどうかを指定します。	クタイムプロトコル
			(NTP) を使用して独自の
			時刻を参照時刻ソースとし
			て動作する NTP サーバー
			と同期する
	RTC モード	時刻を UTC(協定世界時)	ローカルタイム=時刻をロ
		形式で表示する、またはロ	ーカルタイム形式で表示す
		ーカルタイム形式で表示す	る
		るかを選択できます。	UTC=時刻を UTC(協定
			世界時)形式で表示する
	NTP サーバー 1	NTP サーバーの IP アドレ	IP アドレスまたは DNS 文
		スまたは DNS 名を指定し	字列を入力する。
		ます。	
	NTP サーバー 2	NTP サーバーの IP アドレ	IP アドレスまたは DNS 文
		スまたは DNS 名を指定し	字列を入力する。
		ます。	

琈	间名	説明	設定値
	タイムゾーン	サーバーのある場所に対応	プルダウンから選択する。
		するタイムゾーンを設定で	
		きます。	

監視ポリシーと関連付くプロファイルの設定項目について、以下の表に示します。

プロファイル種別	監視ポリシーとの関連
BIOS	-
iRMC	0
OS	-

監視ポリシー項目名		iRMC 設定項目名
SNMP 一般設定		SNMP 一般設定
	SNMP 有効	SNMP 有効
	SNMP ポート	SNMP ポート
	SNMPv1/v2c コミュニティー名	SNMPv1/v2c コミュニティー名
SNMP トラップ送信先		SNMP トラップ送信先
	SNMP トラップコミュニティー	SNMP トラップコミュニティー
	送信先 SNMP サーバー 1-7	送信先 SNMP サーバー 1-7
	プロトコル	プロトコル
時刻		時刻
	タイムモード	タイムモード
	RTC モード	RTC モード
	NTP サーバー 1	NTP サーバー 0
	NTP サーバー 2	NTP サーバー 1
	タイムゾーン	タイムゾーン